

因幡志

八東郡

五

| | | | |
|--|----|-------|-----|
| | | | 和書門 |
| | | 二九二八六 | 類 |
| | | 二八六 | 號 |
| | 三三 | 二八 | 函 |
| | 二 | 二 | 架 |
| | 三 | 三 | 冊 |

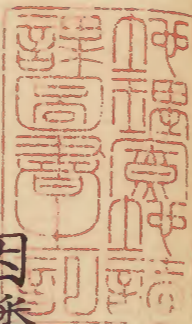
| | | | | |
|-----|----|-------|---|----|
| 庫 | 文 | 閣 | 内 | |
| 一七五 | | 二九二八六 | | 和書 |
| 函 | | 二八六 | | 類 |
| 七 | 三三 | 二八 | | 函 |
| 架 | 二 | 二 | | 架 |
| 冊 | 三 | 三 | | 冊 |

| | |
|------|----------|
| 内閣文庫 | |
| 番號 | 和 29286 |
| 冊數 | 33 (6) |
| 函號 | 175 105 |

地五三



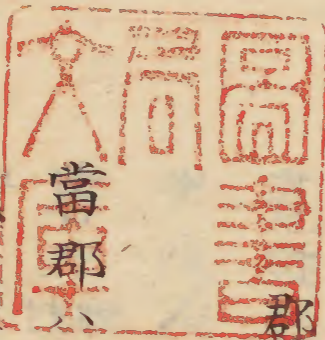
糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり



因幡志卷之五 本

内一〇九九二號

因府侍醫安陪 惟親 恭庵編



郷之部

八東郡 東西八里 南北一里半

本八上郡ヲ分ケタル郡ノ名也故ニ古書ニ取

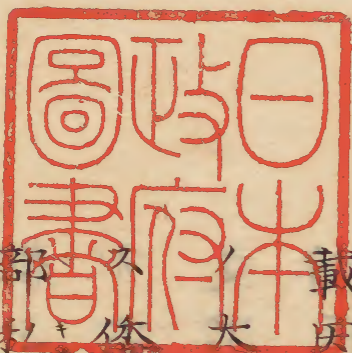
載因幡國七郡ノ内八東ト云郡無シ八上ハ往昔國中

大郡ニテ十二郷ヲ統タリ然ルニ中古割之二郡ト

以倭名鈔取謂八上郡条下ニ若櫻丹比刑部日理日下

郡利部土師大江叡岐佐井石田曳田以上是也而シテ

其東方若櫻以下私部以上六郷ヲ八東郡トス意ハ八



上ノ東郡也トソ又西ノ方土師以下六郷ハ舊名ハ上
郡ト云ヘリ是、何世ノ制度ニテ分_レ之侍リシニヤ郡中
ノ古刹新真寺、什物安元三年ノ筆記ニハ東川ト云フ
文出タレハ其比已ニ二郡タリシトミユ安元ハ高倉
院ノ年_ノ至_レ今六百年餘也按_レニ倭名鈔所謂因幡ハ七郡也此
書ハ_{村上帝}御宇天曆年中源順撰之今既九百年ニ近シ然
レハハ東ト別レシモ八百年前後ノ事ナルヘシ又拾
芥抄取_レ載當國郡ノ名ナミルニハ東ヲ除テハ東ト記
セリサレド當國ニハ東ト云フ郡無シ是必スハ東ノ
因誤リ東ノ字横ノ一畫ヲ脱シタルナラム拾芥抄ハ正

書ナレドモ當國郡ノ数目名義等乱脱謬妄信スベキ
取ナシ事ハ首卷ノ末ニ委シケレハ此ニ畧スサレバ
寛文中江都政事府ヨリ當國郡ノ名ヲ正サレハ東
ヲ改_レハ東トスヘキ旨下知アリシカハ其比其通りヲ
用ラレケルトソ想_レニハ東ノ説ハ拾芥抄ヨリ出ケル
ナラム欵然_レニ年經テ後又ハ東ヲ改_レハ東トスベキト
ノ下知ニ因テ尔降又舊ノハ東ト云_レ也凡諸國大郡ハ
中古割之ニ郡トス其例少ナカラス播磨國鎭_ノ廣郡ヲ
割テ鎭東鎭西ノ二郡トシ賀茂郡ヲ分_テ賀東賀西二
郡トス_{其他郡畧}河内國丹南丹北二郡ハ丹比郡ヲ分_テタル

ナリ備前國上道郡ヲ分テ奥上道口上道トス是皆時
代々々ノ制度ニ因テ如斯猶奥條ニ記ス

一當國民間ニ昔ヨリ傳ル一國八郡ノ郷庄保村ノ記ア
リ八東郡條下云々一

若櫻郷 富久保 小幡郷 丹比郷 富松郷 富枝

郷 日野田郷 徳九保 草部郷 安井保 加陽保

下野 上野 見規中村 日理保 西御門社 私部

郷 峯寺保 油別府 津黒保 花原保 以上一其

他七郡別卷ニ記ス此記年號無ケレハ時代不分明サ

レド上古ノ割法ニアラズ右取謂富松富久其地今不

知加陽ハ安井村田土ノ字ニ残レリト云フ草部ハ日

下部ノ事ナルヘシ西御門社トハ昔當村ノ奥瀧山ト

云フ処ニ諾丹ニ尊ヲ祭レル神廟アリシ由然ルニ天

正年ノ兵火ニ燔滅シテ今ハ亡是ハ正慶年中

後醍醐天皇伯耆國ヨリ潛幸ノ時依 勅願此地ニ創

建アリシ神宮ナル事神主大川氏ヲ遺書ニ分明也然

レハ其神領ノ地ナルヲ以テ村庄里庄不記社ト書シ

ナルヘシ凡郷村里ノ記録ニ寺社ノ名ヲ書キ交ヘ夕

ルモノ此記ノ内他郡ニモアリ是即テ寺号ハ寺領社

號ハ社領也ト云ヘリ是ハ中比鎌倉以降ノ制度ノ筆
記ニ此類多シ又油別府アヲラバノハ昔國府ノ一宮宇倍神社ノ
燈明料寄附ノ地ナレハカク云ナラハシケルトソサ
ルニ因テ神領未濟ノ時ハ一宮ノ社人灯笼ヲ持來リ
村ノ内ニ釣置テ年貢ヲハタリ取ケルト云傳ヘタリ
其外若櫻小幡今作小畑丹比私部等ノ四名今モ郷トス富
枝以下花原以上十四名ハ各村トイフ是皆時代ノ制
度ニ依テ變改如此

一 今代郷庄 保村之記曰 八東郡八十二個村

若櫻郷二十七村 若櫻村 高野村 用呂、 三倉、

赤松、 來見野、 諸鹿、 屋堂羅、 淺井、

大炊、 不香田、 長砂、 湯野原、 淵見、

茗荷谷、 付米、 岸野、 糸白見、 須澄、

根安、 岩屋堂、 吉川、 中原、 大野、

小舟、 落折、 日野田、

丹比郷九ヶ村 南村、 日土、 北山、 戸部田、

志谷、 細見中村、 穉谷、 横地、 妻鹿野、

小畑郷十ヶ村 徳九、 飯原、 東、 古代、

岩淵、 鍛冶屋、 三浦、 柿原、 佐崎、

清徳寺、

四分保十五ヶ村 小別府村 新真寺、安井、
 大門、西御門、殿、一谷、高下、
 水木中村 水木、上野、志子部、福井、
 日下部、茂田、
 私部郷廿一ヶ村 下峯寺村 上峯寺、山野上、
 篠波、市場、覺王寺、野町、麻生、
 福地、山志谷、明延、落岩、姫路、
 上津黒、下津黒、花原、別府、道場、
 大坪、山路、山田、
 以上八十二ヶ村

是ハ寛文中官命ニ因テ當國八郡郷庄保村ノ數目
 ナ改正サレケル其記ノ趣也此外七郡ノ記別卷ニ詳
 也上古中古今代制度ノ變改如此右村名ノ内付米令
 ハ畚米ト書リ戸部田ハ畠枝ト書ク細見ハ細海ナル
 ヘシ小別府ハ古別府ナルヘシ高下ハ郡家ノ義歟水
 木令ハ見槻ト書リ寛文以降年ヲ遂テ増村アリソレ
 ソレ奥ノ條ニ記ス

高下村
 見槻村
 寛文十三年

若櫻郷 二十七ヶ村

高野村

戸数五十九軒

屠兒村二十九軒

氏神若一王子権現

土産 新平枿 長苧

當村ハ若櫻ノ下モノ入口ニテ富枝ヨリ廿八町四十
七間トイヘリ其間ニ川ニツ細海川小橋アリ日野田

川船渡シナリ道ノ左右ニ屠兒村アリテ百姓ノ家居
ハ一町許離テ西ノ山下ニアリ穢多村ノ下手ニ枿ノ
樹數多アリ秋ノ比此菓ヲ取り鳥取へ運送シテ交易
ス是ヲ湯ニ浸シ熟シテ新平枿ト云、國中取々ニアレ
凡當處穢多傍ルヨリ出スモノ又夥シ

若櫻驛

戸數三百九軒

新町上町中町下町農人町

氏神松上大明神

祭日 四月朔日

社領一石三斗

八幡宮

祭日 八月十五日

熊野權現 祭日九月九日

不遠山西方寺 淨土本寺京都東山禪林寺
有木下備中守位牌

寺領十石

萬祥山竜徳寺 曹洞禪本寺鹿奴讓傳寺

寺領一石五斗

光明山壽覺寺 淨土本寺京都智恩院

寺領二石八斗

白毫山蓮教寺 日蓮宗本寺鳥取芳心寺

寺領九斗三升三合三勺

無山号 正栄寺 真宗本寺京都西本願寺

胎藏院 本山三寶院御門跡

制扎場 在農人町西

御茶屋 在古侍町御徒士目附在番

牢一驛馬 四疋

古城 号鬼大松 在城 猿岩 同上 名水 在椎ヶ谷

産物 苩茗 滋地 呉器 三ッ椀 塗盆 塗鉢 和卓

檜杓 檜笠 檜曲物 葺板 杉板 杉戸 莞筵

木履 長草 御所柿 鱒 鮭 多年保利

石伏 雉 山鳥 小鳥類

高野ヨリ十七町異 東南ニアリト 土人云 但し其間ニ三

倉川ノ流道ヲ要ル其渡リニ板橋アリ若櫻ヲ以テ當
郡ノ中央トス鳥取ヨリ七里一町ナリ一筋町ニテ下
ノ口ヲ農人町鳥取上ノ口ヲ新町ト云フ是ヨリ分レ
道アリテ直南へ通レハ窟堂道ニテ播作兩州へ通ス
左ハ東豹ノ山道但馬へノ往還道ナリ町ノ東ニ大川
アリ若櫻川ト云吉川落折畚米三谷ノ流ニテ未ハハ
西ノ方ニ古城アリ鬼ヶ城ト号ス矢部若狹守草創ニ
テ山城守ト称スル迄十六代相續セシトカヤ然ルニ
天正ノ大亂ニ一迹終ニ断絶セリ同九年木下備中守
初名荒木平太夫八東知頭二郡ニテ二万石秀吉公ヨ

リ并領シテ當城ニ主タリシカ慶長五年関ヶ原ノ一
乱ニ滅亡在城ニ
同年

東照宮ヨリ山崎左馬允殿へ右二郡二万五千石但馬
内五
石賜リ子息甲斐守殿迄二代在城ナリシカ元和三年
迄十官命ニ因テ備中ノ成輪へ封ヲ移サレテ一國光
政君ノ御領トナル時ニ一國一城タルベキトノ御下
知ニ就テ當城ヲ卸捨ラルサシモ近世マテ數百年相
續ノ城下ナレハ於今其遺風アリテ町並民家ノ造リ
モ他ノ在郷ニ異テ奇麗ナリ小路一筋ナレモ兩側ニ

小川通、テ西側ノ水ヲ飲食ノ用トシ東ノ方ヲ雜事ニ
用ユ昔ハ東西殊ニ産物多ク諸職人アリテ種々ノ品
ヲ仕出シテ國中ニ交易ス郡中ノ大処ナリ取ノ説ニ
當取ヲ若櫻ト云ハ後醍醐天皇伯州ヨリ潛行ノ時
此里ニテ若木ノ櫻ニ花咲ケルヲ叡感アリテ始テ若
櫻ト詔ソレヨリ呼來ル名ナリ其櫻ノ樹近キ世マテ
古侍町ノ田土ノ中ニアリシカ今ハ枯レテ無シト云リ
按ルニ若櫻ハ和名抄載之此書ハ村上ノ朝天曆年中
撰之至今九百年ニ近シ
然ハ後醍醐帝ヨリ凡四百年以前ノ書ニ出タル地
名也妄説論スルニタラス凡諸國庄保鄉村ノ名ハ上

世其地ヲ領シタル人ノ姓氏ヲ唱モノ少カラス姓氏
録曰履仲天皇舩中ニ遊宴シ玉フ是時櫻花飛來テ
御盞中ニ浮リ天皇異之遣物部長真瞻連尋求シム乃
掖上室山ニ俘得テ獻之天皇歡玉テ物部ヲ改姓ヲ
若櫻部造ト賜トアリ是日本若櫻氏ノ始メナリ此外
郡内邑里ノ名私部丹比小治田日下部春米佐為佐々
貴等皆姓氏録ニ載之上古故有テ賜リシ人ノ苗字ナ
リ當処ヲ若櫻ト号スルモソノカニ領主ノ氏ヲ称ス
ルモノシヤ

大松

大城山ノ東表ニアリ株ノ周圍ニ丈八尺余眼冷シキ大
木ナリ近年此郷ノ鷄匠肥松ヲ取ントテ朽タル穴ヨ
リ這入中心ヲ削ケル程ニ次第ニ坑大ニナリテ宝曆
八九年ノ比終ニ枯ケルナリ今其坑ニ人ハ入籠ル、
ト云ヘリ前主木下備中守植ラレシ松ト云説アレハ
胡亂ナリ昔ヨリ名高キ大木ノ由古キ記録ニシユト

猿岩

身投淵中衣掛松
新町ヨリ三四町川上ニアリ庄瀬トテ岩石峙タル絶
岸下ノ深淵ナリ昔或宮仕ノ女房客ノ前ニ酌トリケ

ルガ立マハリニ下簀ノ音ノキトト鳴ケルカ客折節
笑フ色アリケレハ扱ハ今鳴タル音ヲ我下風ノ声ト聞
ナサレケルコソ耻カシ事也ト思ヒ取ケン其夜マギ
レ出此淵ニ身ヲ沉メテ死ケルト也其時被タル衣其
傍ノ松ニ残リケレハ其ハ云傳ル也何ノ世ノ事ニヤ
老樹今ハ梢枯テ半ニ枝葉ヲナラズ或ハ山崎甲州ノ
侍女ナリシトモ云フ
権現河原
若櫻川ノ辺ヲ云或ハ権現嶋共号ス昔此処ニ権現ト
称スル神祠アリシ故ナリ土俗ニ云往古諸鹿村ノ山

中ニ不不岐ト云鬼神住テ國中ヲ横行シ人民ヲナヤ
マシケル時ニ日理村ノ古太刀神不不岐ヲ討亡シ玉
ヒケルカ其靈龜若櫻ノ里ニ崇リヲナシケル故祭テ
権現ト崇ム今若櫻ノ里外レニ馬石馬脊石トモトテニケ
処ニ切込ノ如キノ痕アルハ古太刀神此取ニテ彼ノ
鬼神ヲ斬玉フ片ノ太刀ノ痕ナリトソ又諸鹿ニテハ
是ヲ大人ト称ス即廣留野ト云処ニ大人屋敷ト云ア
リコビ谷ト云取ノ瀑水ノ下ノ岩ノ上ニ大人ノ足跡
ト云モ即彼不不岐ノ足形也ト云リ按ニ大人トハ猿
田彦命ノ通称ナリ凡諸國大人ノ足跡ト称スルモノ

取々ニアリ當國ニモ亦然リ是ハ猿田彦命ヲ齋テ道
祖神トスル故ナリ惣シテ深山幽谷ニ至テ道路知カ
タキ取道祖神ヲ祭リ或ハ石上大ナル足跡ヲ彫刻ス
是レ上世純朴ノ業ニテ道路ノ誌ト云リ其猿田彦命ノ
故事ト凶徒ノ事トヲ混シテ云ナラン是ヲ以テ想ニ
権現ト称スルハ猿田彦ヲ祭祀セルモノ歟今山下ニ
變遷シテ熊野権現ト号スル是ナリ

三倉村 支村 大工、門前、西谷、西河内

戸數六十九軒 过堂ニ本尊地藏在門前、西河内

氏神虎石大明神 大工門前用之祭日九月十六日

八幡宮 西谷西河内用之祭日九月廿六日

辨天岩 在枝谷

土産 菘若 鷹山

若櫻ヨリ西ノ谷隘ニアリ但シ三倉ハ此谷ノ惣名ニテ入口ヲ大工村ト云若櫻ノ下ノ入り口ヨリ西ニ分レテ四町次ニ門前村大工ヨリ次ニ西谷村門前ヨリ次ニ西河内村西谷ヨリ三町奥ヨリ奥都テ三十町許此四ヶ村ヲ三倉村ト云ナリ今西河内ヲ本村トス是ヨリ奥ニ村落無シ西ニ山路アリ小畑谷へ出ル奥野村へ四十町茂谷村へモ越ル三十三

町許惣シテ是ヲ小畑越ト云高山ニテ峠へ至レハ加路浦湖山ノ湖水モ眼下ニシユ當村菘若ニ名ヲ得タリ菘若ハ國中処々ニアリサレド當郡ヨリ出ル物ヲ上品トス郡中若櫻郷ニ産スルヲ最上トス郷中又三倉ヲ以テ上品トスルナリ按ニ日本紀推古天皇十五年每國置屯倉云云貝原説釋日本紀ヲ引テ曰屯倉トハ天子ノ御米ヲ収置倉ナリ今ニ國ニヨリ三宅ト云村アルハ其跡成ヘシ是其國々ニ米倉ヲ置テ貧民ノ餓死ヲ救給ン爲ナルヘケレハイト當國ニモ屯倉ノ址有カタキマウケニコソトイヘリアルヘシサレ凡其処不明今當村ヲ三倉ト云ハ屯倉ヲミクヲト訓誤リ後世三倉ト轉書シケルナラム歟

辨天岩

三倉ノ南枝谷ノ奥ニアリ石ノ鳥居在大村ヨリ一町一町ニ石地藏ヲ安置シテ道ノ表トス十八町許奥谷ノ左ノ方ニ飛泉アリ其右ノ方少シ偏卑ナル取ニ高サニ丈餘リ周リ五六十間ノ孤岩アリ前ニ楢ノ大木アリ後ニ三圍許ノ櫻ノ老樹岩頭ニ打カザシタリ其岩ノ正面ノ透間ニ赤黒ノ小蛇ニツ蝶ト蛙ト常ニスムト云傳ヘタリ諸人は辨財天ト称シテ崇敬スル夏甚シ毎歳九月巳日ヲ祭テ諸方ヨリ参詣ス或ハ雨ヲ祈シ年ニハ七月巳日雨乞躍トテ郷中ノ男女此取ニ

來テ謠躍ヲナス何ノ世如何ナル人ノ齋ッメケン其云來ルモ久シキ夏也トソ

越中治郎兵衛盛次屋鋪

西河内ヨリ二十五六町奥小畑越ノ道ノ左南ノ山へ七八町奥へ入テ平地アリ其取ヲ額尾ト号ス昔ハ石垣モ有シ由今ハナシ越中盛次文治ノ乱ニ身ヲ遁テ此處ニ竄居シト云傳フ盛次ノ後兄弟三人有テ西河内ニ出テ農業ヲナス其子孫三家ニ別テ本家ヲ仁右衛門別家ヲ太郎兵衛勤介ト云今ニ相續セリ系図アリシカ天明ノ初失火ノ爲一村燒失ス其片亡シト云

へり村ノ氏神八幡宮先祖ヨリ持傳へシ金佛ノ阿弥
陀如來也シカ往年大雪ノ片盜賊奪ヒ去リシト也按
ニ盛次墓ハ但州城崎ノ辺ニアリ武士ノ心ナキシ
下ニコソスノ又法美郡岡益村ニモ盛次子孫ト云
者アレハ初ハ當國彼方此方ニ住居シ後但馬國へ走
リタルナルヘシ

岸野村

戸數二十軒 过堂本尊藥師

氏神三寶荒神 祭日九月二十日

土産

若櫻ヨリ北二町十五間ト云リ新町口ヨリ直南へ通
ル播磨道ナリ但シ民家ハ道ヨリ一町許西へスザリ
テアリ窟堂村へ一里一町四十五間ト云ナリ

糸白見村

戸數四十三軒 过堂本尊 石藥師 觀音

氏神八幡宮 祭日九月十五日

大將軍 祭日 九月十九日

土産 杉角 白箸 打木履 葺板 岩茸

栗茸

岸野ヨリ南へ九町四十五間ト云リ播磨道ナリ村ノ

西ニ谷アリ長サ一里半ト云^{但シ五十町道ナリ}其詰リノ高山

ヲ沖山ト云大通小通トテ播広境ノ大山也此里ヨリ

越ルニ道ナシ又谷ノ間ニ村落モナシ村ノ上外ニ里

堡アリ若櫻ヨリ一里ノ誌也當処産物多シ鳥取ニテ

若櫻木履ト呼モノ此村ヨリ仕出スナリ

二十日 観音

昔當村ニ一庵アリ本尊観音ナリ靈佛ノ聞へアリシ

カハ御分地成徳院君 称 壹岐守 御信仰ニ因テ鳥取へ

ウツサレ瓦町御別荘へ安置シ玉ヒケル今ノ二十日

観音ト称スル是ナリ彼一庵モ其後破壊シケル間迄

牟村民相議シ新ニ観音薬師ニ尊ヲ再興シテ今过堂

ニ按ス

根安村

戸數二十軒 过堂

氏神 八大荒神 祭日 九月十五日

土産

糸白見ヨリ六町許川東ニアリ播磨道ハ糸白見ヨリ
直ニ次澄村へ通リテ當村へハヨラズ

次澄村 枝村内見

戸數二十三軒 过堂本尊觀音

氏神 中原村神主 八幡宮 明神 祭日 九月十九日

中原神主記ナシ 日 九月十五日

巨勢金岡不動 在山上

土産 檜 松 白箸 荻若

根安ヨリ四町許川ノ西ニアリ播磨道也糸白見ヨリ
十一町五十八間トス村ノ西ニ枝谷アリ奥へ二十四

五町其詰リノ山ノ尾ニ聳へタル巉巖アリ岩頭尖リ
テ火焰ノ如ク高サ十餘丈ナリ正面ニ不動明王ノ像
ヲ彫刻ス西エハ巨勢金岡筆ト云傳へタリサレドモ
其地山樹鬱蒼トシテ明ニコレヲ見ルヲカタシ土俗
云日ニ映ズレバ光明アリ是眼中黄金ヲ鑊ムト按ニ
金岡ハ 清和帝ヨリ延喜帝マテ五朝ニ仕テ名西ノ
譽アリ後大納言ニ任ス如何ナル故ニテカ、ル邊地
ニ至レルヤ不思議ト謂ツヘシ雪舟曰凡名勝ノ地山
川草木ノ絶景ハ皆我師也ト又狩野氏古法眼元信ハ
行脚ヲメクラシ山河ノ勝境ヲ尋テ胸臆ノ温ヲヒラ

カント欲シ自藤匣ヲ負画具ヲ納メ深山幽谷ニ至テ
意ニ任テ筆跡ヲ残セリト云是達人其道ニ苦シムノ
ナラヒナレハ往昔金岡ノ名ノ此地ニ傳ルモ強テ疑
ヘキニ非ス或曰金岡ハ今傳聞ノミニテ其画跡止サ
ルヲ歎ズ其画スル取ハ佛像多ク止ルト古史ニミユ
予寛政四年壬子ノ春此地ニ至テ正見ス

蛇切淵 附 蜂巣淵

若櫻川ノ上當村ト絲白見トノ傍尔境ニアリ矢部山
城守若櫻在城ノ時ノ夏トカヤ此淵ニ大蛇スミテ折
節ハ人ノ目ニモアラハレケルト云アヘケレハ山州
ノ家頼某ト云侍是ヲ切ント心懸闖ケレモ不見或時
川ノ辺ニ立テ此淵ニ大蛇ノスムト聞テ度々來レモ
竟ニ見アハスサル丁ノアランニハ今出ヨ姿ヲミン
ト高聲ニ云ケレハ鱧テ小蛇一ツ水上ニ浮出テ川岸
近ク泳キワタリケル扱ハ是ナラント其マ、カヲ抜
テ胴ヲ切ルトヒトシク大蛇トナリ淵ノ中大ニ騷立

緑水忽チ朱トナリケルカ死骸ハ水上ニ浮ミ出タリ
其ヨリ陸地ニ引上ケルニ長サ十四間アリシ由サテ
其脊骨米舂臼程ナルカ年歴テ後マテ道ノ傍ニ立テ
アリケレハ奥山家ヨリ出ケルモノ荷ヲ負ナカラ其
骨ノ上ニ荷ヲナロシ休ミケルト也其後文祿ノ高麗
水ト云洪水ニ彼骨流レ失ヒテ今ハ無シト其故ヲ傳
テ蛇切淵ト云トイヒ傳ヘタリ今其処川脉變リ水淀
ミテ行スサレト淵ノカタチハ残リス又是ヨリ上ニ
蜂巢淵ト云、処アリ山下ノ巖彼ノ淵ニカサシカケタ
ル其処ニ似我蜂巢ヲ食ヘハ今ニ其ハ云ナリ蛇切淵

ト一流レニテ昔西側ニ川筋アリシ由イツシカ川瀬
東ニ属テ昔ノ跡ハ皆田土ニナリ又レ此ニノ淵ハ
水深シテ名ノミニ非ス

窟堂村 イヤツカ 枝村 村ヶ原

戸數二十軒 辻堂本尊地藏

氏神妙見社 祭日九月十九日

妙見山神光寺之廢地 直言 修驗常峯院持

境内有窟堂

寺領四石三斗

平本尊不動明王 弘法大師之作

平經盛一族之墓 小敦盛之墓

古城 号太平城

御番所

土産 杉財木 荻若 白箸 杉板 葺板

須澄ノ南十六町或十二町アリ此間ニ窟堂川吉川谷之流下也

板橋アリ民家ハ川ノ東西ニアリ東ノ方ヲ本村トス

其ヨリ分道有テ左東ハ落折村播境廣へ通ス右南ハ窟

堂道ニテ奥ハ吉川村ヨシカウへ至ル播作兩品之道且其兩谷ノ流レ

民家下ニ落合テ若櫻へ出ル尤急流水聲滔々ト喧シ

當処財木高人多シ吉川村ヨリ製スル取ノ杉角杉丸

太杉ノ挽板等皆此所ニ買取り筏ニ作テ鳥取へ廻シ
テ交易セリ

窟堂 村ノ内吉川谷ノ口西側ノ山下ニアリ窟ハ東向

ニテ高サ八間横四間奥行十間其中ニ掛作ノ堂ヲ建

ツ因テ窟堂ト号ス大同元年ノ草創ニテ飛驒木工カ

作ル取ト云傳へ夕リ職原抄大全曰木工寮大之所作皆掌

頭奉行曰之之古飛驒國多大工叅京都木工或其後頼朝卿再興之今ノ堂宇ノ普請是

飛驒工也 十リト云フ本尊不動明王長二尺火焰三尺余坐像也弘法大師三

十三歳ノ彫刻ニテ此ヲ因幡ノ黒皮不動ト称ス江戸

ニ目黒目赤ノ兩不動アリ 本朝三不動ト称スル是

ナリトソ每歳正五九月廿八日ヲ會式トス天祥院君
此本尊ヲ御飯依ニ因テ彩飾剝落シケルヲ莊嚴ヲ加
玉テ光明赫々トシテ新ナリ堂ノ作ハ方ニ間半尤モ
掛作ニテ牀下梯有リテ上リ下リス星霜久シク昔ノ
マ、ナリシカバ柱梁多クハ虫蝕シ或ハ朽腐タルヲ
八年々修補ヲ加トイヘドモ當時ノ普請ノアリサマ
依然トシテ殊勝ナルヲ言語ヲ絶セリ堂ノ後窟ノ石
壁ニ小キ坎アリ土人口碑ニ同郡小治田村窟へ通ル
ト云傳ヘタリ

神光寺之旧迹 妙見山ト号ス窟堂ノ本寺也昔ハ七堂

作リノ大寺ニテ四方ニ大門アリシト在東門橋註在
西門山手在南
門ホイ只謂之不開門寺領百五十石附ス十三村ノ鑰
取アリ三百八十家ノ滅罪地ナリシト鍵取七ヶ村
今中河原村
ノ神主安原河内ニ飯依ス六ヶ村若櫻ノ神職春名信
濃ニモトソク三百八十家者若櫻竜徳寺檀下ト爲ト
然ニ天正中秀吉公來伐ノ片兵火ニ係テ一時ノ灰
燼トナル其片窟堂ノミ残リテ僧侶ハ退散シタリケ
レハ寺領モ没收セラレ無主ノ廢地タリシ事六年十
リ傳來ノ縁起ハ住僧持去テ作州吉野郡大茅村ノ権
現社ニ納ケリ予今窟堂ノ側ニ鎮坐アル住吉妙見ニ
社ノ焔鬱シコソ兵火ノ餘煙ノ迹ナリト云リ赫々夕

ル名跡今世鳥取善祥院同行常峯院ト云ヘル修驗者
窟ノ傍茅舎ニ在テ寂々寥々ト護之是妙見山神光寺
ノ廢迹ナリト

小敦盛之墓 窟堂ノ前ニアリ向ハ左岩上ニ一墓ノ五
輪ヲ安ス是ナリ此墓旧山下麻畑ノ中ニアリシヲ近
キコ口其地ヲ発キテ碑碣ヲ今ノ所ニウツセリトソ
是ハ平家ノ大將無官ノ大夫敦盛秘藏アリシ馬ノ墓
ト云傳ヘタリ今祭テ馬頭觀音ト崇ム按ニ馬ノ墓ヲ
小敦盛ト称スル丁如何ナル謂ニヤイフカシ敦盛ハ
元暦ノ昔熊谷直實撰品一谷ニコレヲ斬テ其首ヲ父

經盛卿へ送シテ諸書ニミヘタリ又側經盛一族ノ墓
ト云傳ルモアレハモシソレ其頸ヲ安措シタル迹ナ
ルヲ以テ小敦盛ノ墓ト土俗云フニヤ彼ノ墓ヲ発キ
シ片短刀ヲ掘出セリトイハバ馬ノ墓凡心得カタシ
想フニ馬頭觀音ト号スルヲ以テ馬ノ墓ト云ナラン
歟

平經盛一族之墓 窟堂ノ境内南ノ山下ニアリ其地長
三十三間許奥へ八九間ニ石垣ヲ築キ其上ニ五輪ノ
碑碣十一基並建ツ是ヲ參議經盛卿一族ノ墓ト云傳
ヘタリ此碑碣舊田土ノ中ニアリシカ耕農ノサハリ

ナレハトテ小敦盛ノ墓ト同シク碑碣ヲ集メテ此所
ニ安置セリト惣シテ當國ノ中平氏ノ貴族潛居ノ迹
ト云傳ル所處々ニアリ想フニ當時平家ノ全盛ナル
一族郎從其徒幾千万ナラン皆戰没セルニヤ疑ハ入
水ニ迹ヲ翳辺地ニ身ヲ遁タルモ少カルマシ修驗常
峯院口碑ニ安永元年秋八月廿一日武士主從廿九人
播磨路ヨリ千種越シテ此墓ヲ尋ネ來テ香花ヲ手向
懇ニ祭祀ヲナセリ院主其故ヲ問フ中ニ長タルニ士
答テ我々先祖參議平經盛ノ古墳ナリト院主又其姓名
ヲ問フ二人ナカラ參議氏一人名ハ七郎右衛門今一

人ハ答ナシ又其國ヲ問フ畿内ノ者ト云テ國ノ名ヲ
イハズ其日吉川越シテ飯ル其後天明四年春三月六
日播州東河内御室山ノ鉄山ニ一夜止宿セリト云テ
武士上下六人又此墓ヲ拜シテ飯ル院主又其故ヲ尋
ネケレハ是モ同シク先祖經盛一族ノ亡靈祭祀ノ爲ナ
リト答ヘケル其人品タル皆賤シカラズト語りケル
按ニ巨濃郡相山村岩井湯ニ村ノ奥平經盛ノ墓ト云傳ルア
リ又山上經盛八幡宮ト齋レル小祠アリ山下ニ經盛
田經盛屋鋪ナト云アリ何レカ正迹ナル了不知トイ
ヘ正初ハ此地ニ身ヲカクシ後巨濃郡ニ轉住アリシ

吉川村 枝村 江波

戸數八十六軒 过堂本尊 庚辛 藥師
氏神拍大明神 祭日九月九日

同 毘大明神 祭日九月十日

遠谿山吉祥寺 曹洞禪本寺若櫻竜徳寺

制扎場 驛馬

土産 杉角 杉丸太 鞘木 秤柄木 室蓋

葺板 臺板 戸板 桶クレ 楊枝木

ルカハ 舟繩 木地引 熊膽 猪膽

窟堂村ヨリ一里二十町南ノ谷奥ニアリ御制扎場ナ
リ馬驛也谷ノ流一筋ナレ共東西ニ峯岐有テ二度渡
リス怪石磊砢トシテ急流也奇峯西ニ高ク聳ヘ山色
蒼々タルヲ冲山ト号ス其ヨリ山脉南ニ相連タルヲ

大通山小通山ト云播作兩州此山ノ後ニ列ル村ヨリ
道兩谷ニ分レテ辰巳へ越レハ播磨へ通ズ未申ハ美
作道也當処杉多ク松一本モ無シ村民第一財木ヲ製
スルヲ業トス或ハ挽板葺板木地引等有テ種々ノ器
物ヲ仕出セリ其土地岩石崔嵬トシテ谷川ノ急流飛
湍絶崖ニ激ル其聲人ノモノイフヲ不聞天正ノ昔秀
吉公播磨ヨリ越玉フ時此村ノ过堂ニ一夜御陣ヲ居
玉レケル時川音ノカシマシサニ枕ヲモ歌玉ハズ此
音ヲ止ル仕法ヤアルト宣ヒケレハ村長地下中ニ命
シテ川ノ上ニ席ヲ掩ケルト也其功ニ因テ御子扎ヲ

下サレ川運上ヲ免サレケルトソ其時ノ庄屋ハ木地
屋ニテ今若櫻ノ町塗師屋治郎右衛門ト云者ノ先祖
ノ由ニテ今ニ彼御書ヲ持傳フ

播磨越道行程

吉川村ヨリ辰巳大通峠

沖山ヨリ一里余南ニ連ル俗小
通山ト云是也播磨ノ土俗ニテ

ホト云國境迄一里十一町

或一里十四町
四十八間

播磨国宍粟

郡千種東河内村へ出ル境ヨリ一里十四町三十八間
是ヲ大通越ト云雪中牛馬不通是ヨリ南菅山迄峯通

國境也

吉川ヨリ十
種へ凡二百町

同枝村江波ヨリ播磨国宍粟郡西河内へ越ルヲ小通越

ト云、脇道也。國境迄凡五十町境ヨリ西ノ河内へ百町
ト云、歩行道也。

美作越道行程

吉川村ヨリ未申小通峠大通山北尾續キ右ニ見沖山俗

杉峠ト云國境迄一里七町四十二間美作國吉野郡大茅村

へ出ル境ヨリ三十二町四間是ヲ小通越ト云雪中牛

馬不通吉川村ヨリ知頭郡へ至ルモ此道ヨリニテ大

茅村ヨリ坂根ニ出駒飯ヲ越テ入此、外道ナシ

中原村枝村 栢原中村大平勝村

戸數七十六軒 过堂在中原村本尊觀音 同在中村本尊觀音

同在勝村本尊觀音

氏神中原村神主云八幡宮フシ 明神祭日九月十九日

八幡宮祭日八月十五日勝村祭之

土産 木地引在勝村 栗角 箸木

岩屋堂村ヨリ東ノ谷ノ南側ニアリ十五町五間ト云

播磨國戸倉越ノ道筋ナリ下ノ入口ヲ栢原ト云其ヨ

リ中村中原本村 大平勝村ト云五家十家ノ枝村ア

リ其敷地八九町ナリ勝村ハ南ノ枝谷三四町奥ニア

リ是ヨリ播磨國宍粟郡東河内へ越ル山路アリ即吉

川ノ大通峠へ出合馬道ニテ是レヲ中江越ト云國境

ト云、脇道也。國境迄凡五十町境ヨリ西ノ河内へ百町
ト云、歩行道也。

美作越道行程

吉川村ヨリ未申小通峠大通山、北尾續キ右ニ見、沖山俗

杉峠ト云國境迄一里七町四十二間美作國吉野郡大茅村

へ出ル境ヨリ三十二町四間是ヲ小通越ト云、雪中牛

馬不通吉川村ヨリ知頭郡へ至ルモ此道ヨリニテ大

茅村ヨリ坂根ニ出、駒飯ヲ越テ入此、外道ナシ

中原村枝村 栢原中村大平勝村

戸數七十六軒 过堂在中原村 本尊觀音 同在中村 本尊觀音

同在勝村 本尊觀音

クレ谷大明神祭日九月十九日

八幡宮祭日八月十五日 勝村祭之

土産 木地引五軒 在勝村 栗角 箸木

岩屋堂村ヨリ東ノ谷ノ南側ニアリ十五町五間ト云

播磨國戸倉越ノ道筋ナリ下ノ入口ヲ栢原ト云、其ヨ

リ中村中原本村ト云大平勝村ナト云、五家十家ノ枝村ア

リ其敷地八九町ナリ勝村ハ南ノ枝谷三四町奥ニア

リ是ヨリ播磨國宍粟郡東河内へ越ル山路アリ即吉

川ノ大通峠へ出合、馬道ニテ是レヲ中江越ト云、國境

迄百町余境ヨリ東河内へ五十町ト云勝村俗カナハ
枝村ナレ共舊シキ村落トミエタリ今戸數七五六軒
ノ内木地引五家アリ何世ノ乱逆ニヤ落武者一騎播
磨へ越ント木地屋ニ入テ勞レテ休テ曰ヤウ後ヨリ
敵追來ラン必我行衛ヲ告給フナトテ携へタル弓ト
矢ヲ残シテ落行ケレ果シテ討手來リツ、シカクノ
事ヲ問下郎筋ナク有ノマ、ナソ答へケル敵大通峠
ニテ追付遂ニ彼武者ヲ討取シト也今ニ山上道ノ傍
ニ其墓アリト云彼弓箭モ持傳フ由サレ斥道ナキ事
トヤ思ヒケン秘シテ人ニ不見其事ヲモ不語何ノ木

地屋ナルニヤ其比ヨリ今ニ五家共ニ相續スト也又
中原村ノ後ノ山下ニ焰硝倉跡ナリトテ僅ナル畑ア
リ田土ノ中ニ米倉ノ跡ト云モアリ昔中原某ト云人
一萬石領知シテ此郷ニ住ケル其時ノ境内也其墓ハ
十王堂堂ノ後ニ小五輪アリ是也是ハ鳥取袋川堀玉
大ニケル片ノ普請奉行ナリシト云リ然ハ光政君家士
ノ事ナラン欽東鑑ヲ按ニ頼朝卿天下草創ノ片大江
廣元因幡守トス其ヨリ以降中原姓ヲ以テ称ス領知
ノ地名ヲ呼テ姓氏トスルハ古今ノ例也疑ハ當時大
江廣元ノ陳屋ノ旧墟ナラム欽近世光政君御領國ノ

片家中ノ輩領知セシ事混シテ云ルナルヘシ廣元ハ
建保四年閏六月一日中原氏ヲ改メ大江姓ニ遷セラ
レシ勅裁ノ事東鑑ニ委シ于時爲陸奥守以テ察スヘ

大野村 枝村 橋詰本立寺前 朽本

戸數二十五軒 過堂本尊觀音 在橋詰

氏神龍王大明神 祭日九月九日 大野橋詰祭之

白山権現 祭日九月八日 寺前本立朽本祭之

藥師堂 在寺前

土産

中原ヨリ六町北一間トス播磨戸倉越ノ道也此間ニ
中原川トテ勝村ノ谷ヨリ出ル枝川アリ板橋カ、ル
村ノ下ニテ本谷ノ落折川ト一ニナル當村小名多ク
橋ノ此方ヘアルヲ橋詰ト云、大野コレニツ、ク、接ニ
右回
ニ大野ハ本谷ノ北側ニ
見ニ今在南側為本村 朽本其上ニアリ川落折ノ向
北側ニアルヲ寺前本立ト云、皆五家三家ノ小村也當
処ヨリ播磨越ノ服道アリト云、ハ中原ノ中江越ニ同
道ニテ此辺ハ四方深山幽谷ノ絶地也サレハ寛延ノ
末宝曆ノ初比橋詰ノ吉右衛門ト云、土民山畑ヲ閑シ
トテ遙ク、谷奥ニ入リ林叢ヲ結テ助鋪トナシ居ケル時

或^レ夜何ヤラシ^レ來タル音シテモノスゴシ吉右衛門芝
戸ノ透ヨリ覗^レ之、ミルニ蟒蛇ノ來^レテ走井ノ水筋ニ何
トナク物喰^フ躰ナリシカハ彼ノ男聲ヲカケ汝^ハ大虫
我^レ假居ヲ知^テ來^レルカ不知^ハソコ卻^ケ不^レ卻^目ニ物
ミセント旬ケレハ其声ニヤヲソレケシ首ヲカヘシ
テ逃去^ケケルガ明^レ夜又來^リテ前ノ夜ノ如シ男猪鎗ヲ
携^ヘ柴戸越ニ突キケレハ程ヨク蛇ノ細首ヨリ突貫
シテ松ノ切^リ株へ縫^ツケタリ蛇ヒトシク尾ヲフリ七
縱^ハ横ニクルヒケルカ次第ニ勢^ツカレ夜明^テ死ケ
ルトソ其長^ク凡^クニ丈七尺頭ハ皮箕ノ如シト云^レリ此男

ハカマワシノ吉右衛門トテ平日夜服ノ紋ニ鎌ト輪
トヲ付^テ着^ケル意ハ誰人ニテモ鎌輪又負^テハチラ
又ト云沐猴モノニテアリシト也

寺前藥師

此尊像ハ慶長年中藤原家ノ浪士山本四郎太夫ト云
者當取寺跡ニテ堀^リ出^シケルト也正像ハ金佛ナリ
シヲ享保ノ末比若櫻竜徳寺ノ溪水和尚ト云禪師佛
ユニ命^シ肚中ニ作^リコノ堂ヲモ再^真アリシト也當
村ヲ寺ノ前ト云モ昔此山下ニ寺アリシ故ノ名トナ
レハ藥師モ其比ノ佛ナルヘシ取^ノ説ニ其比此辺ニ

カ、云ト云病アリテ村民其家ニ到レハ忽傳深ス此
薬師出現ヨリ今ニ至テ難病ナシ今大野小船ニカミ
ミ屋鋪ト云ハ其因縁ナリト云傳フ

小船村

戸數五十一軒 过堂本尊阿弥陀

氏神

中原村神主 祭日 六月十三日 九月八日
天明神ト云々不審

普明山観音寺

曹洞禪本寺若櫻竜徳寺
文録元年建立開山祖山

土産 菘若

大野ヨリ川越

落折川板橋アリ

八町許北側ノ山下ニアリ落折谷ノ下流水浅シトイヘ丘岩石磊砢トシテ忽深キ

取多シ古記曰大野ヨリ四町三十間トアリ按ニ古図
ニ大野ハ北側ニミ今ノ本立ト云取は大野ノ古地
ナルヲ以テ其云ニヤ本立ヨリ小船マテ四町余アラ
ン今ハ彼橋ヲ渡リテ寺ノ前ヲ過テ小峰歧ヲ越テ當
村ニ至ル播磨道ニテ村中ヲ通ルナリ當処菘若ノ名
物ニテ上品ナルハ三倉ニ不劣村ヨリ十四五町上ノ
河辺ニ孤岩アリ其岩上坳ナル取ニ溜水アリ土俗瘤
落ト云此水ニ疣ヲ洗ヘハ落ル事奇妙ナリトテ郷民
崇敬ス是石上ノ腐水ニテ此類処々ニアリ

落折村

カ、之ト云病アリテ村民其家ニ到レハ忽テ傳深ス此
薬師出現ヨリ今ニ至テ難病ナシ今大野小船ニカ、
之屋鋪ト云ハ其因縁ナリト云傳フ

小船村

戸數五十一軒 过堂本尊阿弥陀

聖大明神

祭日六月十三日九月八日

普明山観音寺

曹洞禪本寺若櫻竜徳寺
文録元年建立開山祖山

土産 菘菜

大野ヨリ川越

落折川板
橋アリ

八町許北側ノ山下ニアリ落

折谷ノ下流水浅シトイヘ庄岩石磊砢トシテ忽テ深キ

取多シ古記曰大野ヨリ四町三十間トアリ按ニ古図

ニ大野ハ北側ニミエ今ノ本立ト云取是大野ノ古地

ナルヲ以テ其云ニヤ本立ヨリ小船マテ四町余アラ

ン今ハ彼橋ヲ渡リテ寺ノ前ヲ過テ小峰歧ヲ越テ當

村ニ至ル播磨道ニテ村中ヲ通ルナリ當処菘菜ノ名

物ニテ上品ナルハ三倉ニ不劣村ヨリ十四五町上ノ

河辺ニ孤岩アリ其岩上坳ナル取ニ溜水アリ土俗瘤

落ト云此水ニ疣ヲ洗ヘハ落ル事奇妙ナリトテ郷民

崇敬ス是石上ノ腐水ニテ此類処々ニアリ

落折村

戸數八軒 过堂本尊不動

氏神藏王権現 在管山故土俗謂スガノセ権現

舟河原大明神 祭日九月七日

土産 葦板 白箸 岩葦

小舟ヨリ廿六町四十八間トス但シ小船ト同シク北
側ニアレドモ其間ニ難取ノ峯岐有テ通りカタケレ
ハ落折川ヲ二度ワタリス水淺シトイヘ石荒シテ
流急ナレハ容易ニ步渡ナラス故ニ橋ヲニケ処ニカ
ケタリ當村ノ詰リノ大山ヲ管山ト号ス因幡楮兩州ノ
境ニテ此坂ヲ土倉峠土倉越ヒ云播磨國完粟郡戸倉

村へ通レハ也土地極ノテ山中未麥不生故ニ租貢ヲ
免シ給ヒ其餘四石救米ヲ成下サレ因幡兩州通路ノ
設トナシ玉フ辱キ制法ニコソサルニ因テ人家八軒
昔ヨリ今ニ至テ増減ナシ取説ニ昔藤原兼氏ト云人
ノ一族兵乱ヲ僻テ此処ニ落來リ居住セシ故落居村
ト称ス今落折ト書ハ誤リト云庄官ノ裏ニ古キ五輪
アリ是元祖ノ古墳ト云傳フ田圃ノ字藤原ト云モア
レハ虚談ト云カタシ喜左衛門ト云者繁藤ノ弓ヲ持
傳ヘシカ偶々疫病行ハルハ折カラ農家ニ武器ア
ルハ凶トテ安永ノ末比隣村小船ノ僧乞取折折テ竹

麓トナシ一半ハ高野山ノ金剛藏院ニヤリトソ無
下ナル僧ノ心トヤ云ン鞍モ有シカ旅高人ノ爲ニ欺
キ持テサラレヌ按ニ慶長中近縣大野村寺前ノ藥師
佛ヲ掘リ出セシモ藤原家ノ浪士山本某也又長砂谷
淵見村ニ山本三郎左衛門ト云者ノ屋敷ノ跡アリ字
并殿ノ是モ藤氏ノ支族ニテ其ヨリ八代ノ後チ山本
前ト云久助ト云今中村ニ住ス是等モ皆彼ノ藤原兼氏ノ同
族ナラン歎何ツノ世何國ヨリ來住セルニヤ或ハ是
平家ノ落人也氏云ヘリサル莫モアルニヤ當処氏神
船河原明神ハ經盛靈神ト云傳フレハ據ナキニアラ

ス

三瀧 魚留

村ヨリ十町許奥ニアリ三段ニ下ル故ニ名ル也中瀧
二間餘アラシ其流下村ヨリ十町餘下ニ至テ大石ア
リテ溪流直下ス下ハ深潭也鱒鮭ノ属此所マテ來テ
上ニ上ル丁不能因テ魚留ト云此類取々谷筋ニアリ
或ハ鮎返ナド云モ同シ

船河原大明神

或作船尾

富村氏神也土俗ニ云平經盛甲ヲ納テ神體トス安永
ノ末比此村ノ下モ小船村ノ畠中ニテ冑ノ涎懸ヲ掘出

ス皆人彼ノ胃ノヨタレカケナラント云テ船河原ノ
祠ニ納ムト云リ
スガノセ権現

菅山ノ麓ニ鎮坐シ玉ヲ藏王権現是也スガノセハ菅
山ノ略語也此神往古ハ山巔因但兩國ノ境ニ坐セリ
堂宇モナク金佛ノ立像空ニク叢ノ中ニ立玉ヲ何ノ
世コレヲ祭祀セルニヤ其地峻險ニシテ四方四十里
ノ外眼下ニ直下ス高山ナレハ人跡絶テ知者無リシ
ニ或日因幡ト但馬ノ木地屋此処ニテ行合神體ヲ拜
シテ已クカ國ニ遷シ祭ムト云テ争之サレ何レノ

國ノ草創タル夏不分明相論一変セサレハ一人ノ曰
明日早ク來テ拜之者其國ノ神タラント約シテ別レ
ス因幡ノ木地屋偽テ途ニ伏シ其一人ノ飯ル取テ覘
ヒスマニ臆テ又飯り來テ彼ノ神像ヲ因幡ノ方ノ麓
ニ安置セリ明日黎明但馬ノ僕來テ見之神已ニ去リ
又臍ヲ嚙テ飯リシト也

播磨越行程

落折村ヨリ戸倉峠号菅山播廣國ノ國境迄二十九町三
十五間境ヨリ播磨國完粟郡土倉村へ一里七町三間
大雪牛馬不通鳥取ヨリ至國境十里三十四町四十八

間ト云ヘリ

浅井村

戸數八軒

氏神牛頭天王 祭日九月九日

土産 荻岩

若櫻ヨリ四町川越ニ東ニアリ大炊ト春米川ヲ隔テ

南北ニ相對ス

屋堂羅村

枝村 谷口 中村 欽智 小畑 大畑 カンガウ

戸數八十軒

氏神大炊宮

祭日九月十八日延喜式神名帳 載之意非神社是也

觀音堂 本尊 千手觀音

無山号淨善寺 眞宗本寺但州豊岡永照寺

土産 財木 栗角 櫻角 蕨 砥石 荻岩

浅井ヨリ六町北ノ谷隘ニアリ此谷ハ長砂赤松兩谷ノ間ニテ若櫻ヨリ七町川東也谷ノ入口ノ村ヲ谷口ト云其ヨリ奥へ中村 欽智 小畑 大畑 カンガウ 以上六ヶ村ヲ矢堂羅村ト云ナリ谷ノ長サ五十町許其間溪流直下スル取五段名テ一滝ニ滝三滝四滝兩滝ト云詰リノ高山ヲヂンバチノ山ト号ス因但ノ境ナレト越ルニ道無シ但シ谷ノ左右僅ニ山道アリテ春米諸

鹿西谷へ通スサレ共難処也處ニ馴タリ厄容易ニ越
カタシ諸鹿ノ方ノ山上四方半里許ノ平原ニテ是ヲ
鎌ガ野ト云當取栗木多シ第一財木ヲ作り又藁ヲ製
スルニ名ヲ得タリ荒砥アリ矢堂羅砥トテ鍛冶コレ
ヲ專用ス又氏神大炊宮ハ土俗稱老宮者大延喜式神
名帳載之意非神社是也此神祠旧矢落谷ニアリ矢堂
枝今ノ社地ハ矢堂羅下淺井ト中古ノ遷坐也土俗云
昔武内宿祢長砂ノ一宮谷ヨリ矢ヲ放テ曰此矢ノ落
着所ヲ定テ大炊神ノ鎮坐トナサント因テ其地ニ神
祠ヲ建ル今ノ矢落谷是也ト是ヲ以テ考ニ矢堂羅ハ

矢通ノ轉語ナルヘシラリハ音通ニテウツリ易ク土
人ノ鄙言ニ矢通りナリト云ハズラト云ヲ文字ニ受
テ而モ眞名ニテ屋堂羅ト書タルヲ世々ニ訛傳ヘタ
ルナルベシ又一宮谷ハ武内ノ故事ニ因テ名ルト云
事按ニ凡神名帳取載神社ハ何ノ邑里ニ鎮坐アルモ
其地ノ土俗ニテ皆一宮ト稱ス是ヲ想ニ長砂ノ一宮
谷ト号スルハ舊大炊宮ノ鎮坐ナルヲ以テ斯云ナラ
ン今世一宮ト稱スルハ法美郡宇倍社ヲサス祭神武
内宿祢トアル故後世武内ノ夏ヲ混シテ云フナラン
欣迓縣ニ大炊村アリ當処ニ大炊宮アリ是上古地名

ヲ呼テ神号トスルノ例也延喜式神名帳所載意非神
トハ大炊ノ仮字書也然ニ服仮字意非ニ作ハ後人ノ
作誤リナリ意ハ音通於ノ仮書也意保止命意富伊我
都命類神書ニ詳也猶神社考ニ注ス

大炊村 枝村 カンジキ

戸數古記ニ二十軒 軒 堂

氏神岡大明神

土産 蓑 菘 茗

若櫻川ト春米川ト出合ノ東ノ山下ニ在、浅井ヨリ南
春米川ヲヘダテ、相對ス若櫻ヨリ川越十五町ト云

リ又村ヨリ十三四町東南ノ谷隘ニカンジキト云フ
出村アリ按ニ大炊ハ人ノ氏也其起ル取火明命ノ四
世孫阿麻口称命ノ後ヲ大炊刑部造ト称スは大炊姓
ノ始ニテ今ニ至テ二千歳ニ餘レリ上古ノ地至ナル
ヲ以テ唱來ル邑名ナルニヤ近隣屋堂羅村ニ大炊宮
アリ往昔神號地名ヲ称スル例少カラザレバ屋堂羅
モ大炊ノ古地ナラン歟又當村久四郎ト云、百姓アリ
以前ハ若櫻ノ城主山崎氏ノ醫師山根東庵ト云者ノ
後也トテ今ニ持傳ヘタルモノ醫學捷經ト云書アリ
外ニ矢鏃矢籠等アリ弓ハ折タル由山崎氏ハ元和三

年備中國成輪ニ轉封アリシニ何トシテ渠一人此取
ニ残り侍シニヤ

不香田村

戸數二十五軒 辻堂本尊地藏

氏神大將軍

中原村神志記ニハ一日
岡大明神云々

土産 蓑 蓑若

大炊ヨリ春米谷ノ入口南側ニアリ浅井ヨリ川越春米
川十六町トス當村ヨリ奥春米村迄六ヶ村ナリ春米
谷或ハ長砂谷共云詰リノ高山ヲ豹山ト号ス但馬國

漆味郡へ越^ス往還也此谷筋蓑草多シ故ニ每村ニ蓑ヲ
ヒネル當村ノ下ニ一宮谷ト云枝谷アリ谷口ノ石橋
ニ馬ノ蹄ノ痕付タルアリ石上切ナル程裏ニ突キ出
タリ石長凡三尺横二尺許厚七八寸也此類ノ石國中
所々ニアレ^レ在當処ノ石ハ他ニ異テ格別也土俗ニ昔
武内宿祢當國征伐ノ時今ノ駒還ノ坂ヨリ攻入トシ
玉ヲ時敵其取ニ出迎ケレハ武内馬ヲ還シ此谷へ飛
下リ給フ其時ノ馬蹄ノ跡ニテ一宮谷ト云モ其故更
ナリト云傳タリ

長砂村

年備中國成輪ニ轉封アリシニ何トシテ渠一人此取
ニ残り侍シニヤ

不香田村

戸數二十五軒 过堂本尊地藏

氏神

大正神

祭日九月廿三日

土産

蕨

蕨若

大炊ヨリ春米谷ノ入口南側ニアリ浅井ヨリ川越
川十六町トス當村ヨリ奥春米村迄六ヶ村ナリ春米
谷或ハ長砂谷共云詰リノ高山ヲ豹山ト号ス但馬國

漆味郡へ越往還也此谷筋蕨草多シ故ニ毎村ニ蕨ヲ
トネル當村ノ下ニ一宮谷ト云枝谷アリ谷口ノ石橋
ニ馬ノ蹄ノ痕付タルアリ石上切ナル程裏ニ突キ出
タリ石長九三尺横二尺許厚七八寸也此類ノ石國中
所々ニアレ凡當処ノ石ハ他ニ異テ格別也土俗ニ昔
武内宿祢當國征伐ノ時今ノ駒還ノ坂ヨリ攻入トシ
玉ヲ時敵其取ニ出迎ケレハ武内馬ヲ還シ此谷へ飛
下リ給フ其時ノ馬蹄ノ跡ニテ一宮谷ト云モ其故夏
ナリト云傳タリ

長砂村

戸數十四軒

氏神牛頭天王

祭日九月廿九日

中原村神主記ニ
田原大明神トアリ大明神祭日

不動山長福寺

眞言號大日堂是也

本尊大日如來

金剛堀弘法作
胎藏堀行基作

京都三寶院一派歡樂院護之

鳥取修驗善
祥院同行

古城

長砂伊賀守同與五郎
居城之跡

土産 蓑 蓑 蓑

不香田ヨリ三町許奥同側ニアリ但馬道ハ川向ニア

リ當村ニモ專ラヒネリ蓑ヲ製ス村ノ中ニ大日堂ア

リ本尊大日如來ハ舊邑美郡圓護寺ノ本尊ナリシト

カヤ中古乱逆彼寺頽廢ノ時本尊ヲ當取ヘ遷ケルト

也摩尼寺ノ縁起ヲ考ルニ圓護寺ハ頗ル古寺ニテ至

今千年餘遙ニ過タリ然レハ舊シキ靈佛ナルニカ、ル

辺地ニ坐テ靈光零ヘ知人希也兩力士モ弘法行基ノ

作ト云傳ヘタリ又堂ノ後ニ大五輪ノ碑碣アリ此レ

ハ長砂与五郎ト云シ者ノ墓也ト寛政元年百五十年

ノ正當忌也トテ末孫徳丸村ノ平兵衛ト云百姓追福

之セリトソ与五郎父ヲ長砂伊賀守ト称ス伊賀守墓

ハ當村ト不香田村トノ中間道ノ傍ニアリ是ハ代々

戸數十四軒

氏神牛頭天王 祭日九月廿九日

三石王地村道

夕ハラ大明神 祭日

不動山長福寺 眞言 號大日堂是也

本尊大日如來 金剛堀弘法作胎藏堀行基作

京都三寶院一派歡樂院護之 鳥取修驗善祥院同行

古城 長砂伊賀守同與五郎居城之跡

土産 蓑 蓑若

不香田ヨリ三町許奥同側ニアリ但馬道ハ川向ニア

リ當村ニモ專ラヒネリ蓑ヲ製ス村ノ中ニ大日堂ア

リ本尊大日如來ハ舊邑美郡圓護寺ノ本尊ナリシト

カヤ中古乱逆彼寺頽廢ノ時本尊ヲ當取ヘ遷ケルト

也摩尼寺ノ縁起ヲ考ルニ圓護寺ハ頗ル古寺ニテ至

今千年餘遙ニ過タリ然レハ舊シキ靈佛ナルニカ、ル

辺地ニ坐テ靈光零ヘ知人希也兩力士モ弘法行基ノ

作ト云傳ヘタリ又堂ノ後ニ大五輪ノ碑碣アリ此レ

ハ長砂与五郎ト云シ者ノ墓也ト寛政元年百五十年

ノ正當忌也トテ末孫徳九村ノ平兵衛ト云百姓追福

之セリトソ与五郎父ヲ長砂伊賀守ト称ス伊賀守墓

ハ當村ト不香田村トノ中間道ノ傍ニアリ是ハ代々

此谷ヲ領知シテ長砂ノ古城ニ在住セリト尚古城ノ部ニ委シ

湯原村 枝村 加羅尾

戸數廿七軒 辻堂本尊觀音

氏神十二社 權現祭日九月十九日

龍源山永雲寺 曹洞禪本寺若櫻竜徳寺 元禄元年建立開山祖山

土産 蓑 蓑 蓑

長砂ヨリ川越春米九町許北側ノ山下ニアリ但馬道ナリ村ノ奥ニ里堡アリ若櫻ヨリ一里トス昔當処ニ温泉アリ湯原ト号スルモ其故也其跡今ニ水ヌルシ

蓑艸コレニ浸ス故他村ノ製ニ異テ蓑毛和ニシテヨシト云リ又里諺ニ昔此処ノ温泉盛ナリシ時長砂ノ城主云水上ニ温泉有テハ水清カラス殊ニ悪疾ノ病者來テ浴ヲナスモ不淨也トテ湯池ヲ皆潰サレケレハ其後絶テ温泉不出然ニ其比但州竹田温泉涌出タリトイヘハ此地湯脉彼地ニヌケタルナラムトイヘ

淵見村

戸數三十軒 辻堂本尊阿弥陀

氏神若一王子 祭日九月九日

土産 蓑 蓑 木地引物

湯原ヨリ十三町許奥ニアリ當取モ蓑ナニネル湯原ノ制ニ不劣

蓑荷谷村

戸數二十二軒 过堂本尊觀音

氏神 中原村神主記 三寶荒神トアリ 祭日 九月廿九日

土産 木地引物 蓑 蓑

淵見ヨリ三十町許奥同ク北側ニアリ 古因在 但馬道南側

ナリ當村傍尔ニ大清水ト云所アリ村ヨリ川 春米川 向

フ南ノ枝谷一里許奥ニ岩山アリ其麓ニ大ナル坎ア

リテ冷水沸々ト涌出土人大清水ト云是也其流レ清

駛ノ河トナリ當村ノ前ニテ春米川ニ落合ニ其末ハ

大炊ノ西ニテ若櫻川ト一条ス

春米村

戸數二十軒 过堂本尊阿弥陀

氏神藏王権現 祭日 九月廿七日

土産

蓑荷谷ヨリ十五町許奥因但ノ國境約山ノ麓北側ニ

アリ 古因在 但馬道南側 此ヨリ奥ニ村落ナシ村ヨリ嶺迄三十町

余リ也但州漆味郡へノ往還筋ニテ村中ヲ通ル村ヨ

土産 蓑 蓑 蓑 木地引物

湯原ヨリ十三町許奥ニアリ當取モ蓑ナニネル湯原ノ制ニ不劣

蓑荷谷村

戸數二十二軒 过堂本尊觀音

ハハラ大明神 祭日九月廿九日

土産 木地引物 蓑 蓑

淵見ヨリ三十町許奥同ク北側ニアリ古因在但馬道南側

ナリ當村傍尔ニ大清水ト云所アリ村ヨリ川春米向

フ南ノ枝谷一里許奥ニ岩山アリ其麓ニ大ナル坎ア

リテ冷水沸々ト涌出土人大清水ト云是也其流レ清

駛ノ河トナリ當村ノ前ニテ春米川ニ落合ニ其末ハ

大炊ノ西ニテ若櫻川ト一条ス

春米村

戸數二十軒 过堂本尊阿弥陀

氏神藏王権現 祭日九月廿七日

土産

蓑荷谷ヨリ十五町許奥因但ノ國境豹山ノ麓北側ニ

アリ古因在但馬道南側此ヨリ奥ニ村落ナシ村ヨリ嶺迄三十町

余リ也但州漆味郡へノ往還筋ニテ村中ヲ通ル村ヨ

リ猶尾村へ二里ニ近シ俗ニ云天照大神宮征西ノ時
此山ヲ通り玉フ其片林叢朝日ニ映耀シケレハ日枝
山ト宣ヒケル今ヒヨウノ山ト云ハ^日工^我ノ轉音豹ノ
字ヲ用ルハ誤リ也今ニ及テ諸國ノ人民此山ヲ越^レテ
伊勢詣ノ本道トスルハ其因縁ト云傳フ又春米ト号
スルハ舊人ノ苗字ナリ其起ル所神饒速日命ノ後^テヲ
春米宿祢ト称ス^録姓^氏是春米氏ノ始也凡諸國邑里ノ
名多クハ上古其地主ノ姓氏ヲ呼來ルアレハ此里モ
其様ノ故アル名ナルニヤ叔又當村土民ハ皆平家殘
黨ノ果ナル由文治昔水谷森岡両氏ノ武士此里ニ道

世ス其レヨリ子孫相續シテ後代分家ヲナス故ニ一
邑彼ニ姓ヲ称ス太刀弓鎧系圖等持傳ヘシカ^正德
享保年間ノ失火ニ皆焼失シテ今ハ亡ト云リ

因幡堂

昔ハ豹山峠因但ノ國境ニアリシトカヤ今ハ峠ヨリ
遙東ニ下テ但馬領ニアリ本尊地藏日羅ノ作ト云傳
タリ何ノ世ノ事ナルニヤ但馬國福定村ノ^{豹山在土}
民本尊ヲ盜去テ今ノ取ニ安置セリ春米ノ村人不^休
舊ノ取ニ返サント議スレ^正其地因但ノ境ニ在テ何
レノ國ノ草創ナルヲ知者ナケレハ爭論一變セス時

ニサル者有テ棟札ヲ取コレヲミルニ往古因幡國ノ
創建タル更明ケシ於爰但馬ノ方負ヌサレ尾峯ノ堂
破壊シテ佛ヲ安ニスヘキヤウナケレハ其終ニアリ
シカ今ニ及テ但馬國ニ在ナカラ因幡堂ト云ハ其故
ト云リ按ニ日羅ハ達率日羅ト稱ス肥後國葦北郡ノ
産國造阿利斯登之子ニテ欽明天皇朝ノ人也和漢
三才
因會肥後
國具也至今凡千二百五十年也然ハ此堂創建ノ始
近世ノ更ニアラスサレハ宝曆年中再真ノ時春米福
定兩國ノ村民和談シテ尔降因但ノ西村ヨリシテ修
補之今豹山嶺ニ堂屋鋪トテ杉大木三本アリ石垣ノ

形モ残レルコソ上古因幡堂ノ跡也ト云リ

但馬越行程

春米村ヨリ豹山峠國境迄三十五町二十間

或三十二町
但福定村ト

春米村ト峠ヨリ
道範凡フリ分也境ヨリ但馬國漆美郡奈良尾村へ三

十二町四十間是豹山越ト云難取ニテ牛馬不通是ヨ

リ西ニ相對スル三國山迄峯通り國境也北方蒲生峠

マテノ山ツ、キハ國境不知

用呂村 上、用呂中用呂下用呂

戸數六十軒

氏神荒神

中原村神至三村尾ニ
氏神大月大明神ト

ニサル者有テ棟札ヲ取コレヲミルニ往古因幡國ノ
創建タル夏明ケシ於爰但馬ノ方負ヌサレ厄峯ノ堂
破壊シテ佛ヲ安シスヘキヤウナケレハ其終ニアリ
シカ今ニ及テ但馬國ニ在ナカラ因幡堂ト云ハ其故
ト云リ按ニ日羅ハ達率日羅ト稱ス肥後國葦北郡ノ
産國造阿利斯登之子ニテ 欽明天皇朝ノ人也和漢
三才
因會肥後
國具也 至今凡千二百五十年也然ハ此堂創建ノ始
近世ノ夏ニアラスサレハ宝曆年中再真ノ時春米福
定兩國ノ村民和談シテ尔降因但ノ両村ヨリシテ修
補之今豹山嶺ニ堂屋鋪トテ杉大木三本アリ石垣ノ

形モ残レルコソ上古因幡堂ノ跡也ト云リ

但馬越行程

春米村ヨリ豹山峠國境迄三十五町二十間

或三十二町
但福定村ト

春米村ト峠ヨリ
道範凡フリ分也 境ヨリ但馬國漆美郡奈良尾村へ三

十二町四十間是豹山越ト云難取ニテ牛馬不通是ヨ

リ西ニ相對スル三國山迄峯通り國境也北方蒲生峠

マテノ山ツ、キハ國境不知

用呂村 上用呂中用呂下用呂

戸數六十軒

五十四町
上野呂村

祭日
上用呂祭之

大新妙見社

中用呂祭之

大月大明神

下用呂祭之

瑞峯山祥雲寺

曹洞禪本寺氣多郡讓傳寺

寺領三斗九升二合

猿岩 鳥帽子岩

土産

當村ハ古海谷

或謂赤松谷

ト細海谷トノ間ノ山際ニ有リ

若櫻驛ヨリ三十町許川下ニテ街道ヨリ川向東側ニ

属ス其渡ニ挽割ノ板橋ヲ掛タリ但上中下三村ニ分

ル富枝村ヨリ下用呂ヘ七三町ナリ村外ノ繩手道ノ

傍ニ名水アリ四社権現ノ御手洗也池ノ廣四五疊深

サ一尺許下流一条ノ小川トナル旱魃トイヘトモ水

涸ス清冷潔淨云許リナシ此池ニ昔ヨリ一目ノ歎一

ツスムト云傳ヘタリ

猿岩 用呂ノ川向フ山下ノ街道筋若櫻ノ方へ通ハ高

野村ノ下右手ノ山上嶮シキ処ニ道ノ上ニカガシカ

レル如キノ巖ノ名也其色赤キ故土人赤岩ト云リ里諺

ニ八九十年以前ノ夏トカヤ此巖上ニ大猿ノ人ノ長

程ナルガ毎年春ノ比時ヲ違ヘズ來リテ五三日遊ビ

戲レテ飯リ忖ル何國ヨリ來ルト云フ夏不知土人不

思議ノ夏也此ハ此処ノ神ナラムト云テ恐敬シケル
トッ余降彼ノ巖ヲ猿岩ト呼ケルト也其後如何ニ夕
リケム彼猿ヲ大食殺シケレハ五七年モ來ザリニガ
又外ノ猿ニヤ其比毎年此岩上ニ來リケルトニヤ
烏帽子岩 是モ用呂村トハ若櫻川ヲ隔テ街道端川岸ヨ
リ尖起シタル巖ナリ其形烏帽子ニ似タレハ名ク此
辺ハ本村ト大川越ナレトモ用呂村旁尔ナレバ用呂
ノ猿岩烏帽子岩ト云ナリ

赤松村 枝村 北谷 栗尾 大杉 内町 東谷
一斗代 中江 寺取 馬場 以上十ヶ村
戸數百十六軒 过堂本尊觀音 在馬場村

氏神妙見社 在內町北谷用之
祭日九月廿九日

三宝荒神 在赤松村北谷祭之
祭日同上

松尾大明神 在馬場村東谷祭之
祭日九月廿日

古城 在內町之奥
号男山城 名物菘蓐

用呂ヨリ三十町餘東古海谷 或謂赤松谷ノ口ニアリ
又諸鹿谷

若櫻ヨリ本村へ川越ハ二町良ニアタレリ谷ノ長サ

凡二里但州堺ニ至ル其間赤松來見野諸鹿三村也赤

松ハ東北西谷ニ分レテ出村數多アリ北ノ谷口ニア

ルヲ内町ト云若櫻ヨリ八町トス其ヨリ大杉赤松為本

村 栗尾是古海ノ本谷ニテ但馬道ナリ東ハ支谷入口

ヲ馬場村ト云、若櫻ヨリ七町ト云、其ヨリ奥へ寺処、中
江、一斗代、角谷、小水口、岡ナレト云、支村皆赤松ヲ惣名
トス、專ラ菘若ヲ作ル、尤上品ナリ、古城アリ、男山城ト
号ス、古海某居城ノ跡ト云、リ然ハ地名ヲ呼テ姓トセ
ルナラム、馬場内町寺処コウレン寺ノ廢地ト云ナリ、字モ當時城下ノ
名残りト云、リ又古海相撲トテ、毎歲九月氏神ノ祭日
能スマフノ勝負アリ、當城主角カヲ好ミテ、其ヨリ始
マリ今ニ取ノ土俗トナレリト也

來見野村

戸數五十軒 辻堂

氏神荒神

三寶荒神

十三日

土産

菘若

桐木

漆

赤松本村ヨリ三十町許、奥川東ノ山下ニアリ、道祖神

此在栗尾之上ヨリ廿五町若櫻ヨリ一里、但馬道也、村ヨリ

北へ山越シスレバ、細海谷ノ妻鹿野村へ出ル道アリ

當取第一菘若ヲ作ル、最上ナルハ三倉ニ不劣、菘若ノ

代ヲ以テ地稅ニ餘ルトイヘリ、扱又安藤八幡宮ト称

スル小社村ノ奥左ノ山ニアリ、是ハ私部津黒ノ城主

安藤氏義光ノ靈ヲ齋ルト云、天正年中津黒落城ノ時

義光唯一騎、但馬へ落レト此取ヲ通りカ、リケルカ

ヲ馬場村ト云、若櫻ヨリ七町ト云、其ヨリ奥ノ寺処、中
江、一斗代、角谷、小水口、岡ナレト云、支村皆赤松ヲ惣名
トス、專ラ菘若ヲ作ル、尤上品ナリ、古城アリ、男山城ト
号ス、古海某居城ノ跡ト云、リ然ハ地名ヲ呼テ姓トセ
ルナラム、馬場内町寺処コウレン寺ノ字モ當時城下ノ
名残りト云、リ又古海相撲トテ、毎歳九月氏神ノ祭日
能スマフノ勝負アリ、當城主角カヲ好ミテ、其ヨリ始
マリ今ニ取ノ土俗トナレリト也

來見野村

戸數五十軒 辻堂

氏神 九月十三日

土産 菘若 桐木 漆

赤松本村ヨリ三十町許、奥川東ノ山下ニアリ、道祖神

此在栗尾之上ヨリ、北五町若櫻ヨリ一里、但馬道也、村ヨリ

北へ山越シスレバ、細海谷ノ妻鹿野村へ出ル道アリ

當取第一菘若ヲ作ル、最上ナルハ三倉ニ不劣、菘若ノ

代ヲ以テ地稅ニ餘ルトイヘリ、扱又安藤八幡宮ト称

スル小社村ノ奥左ノ山ニアリ、是ハ私部津黒ノ城主

安藤氏義光ノ靈ヲ齋ルト云、天正年中津黒落城ノ時

義光唯一騎、但馬へ落レト、此取ヲ通りカ、リケルカ

餓テ行ク夏アタハス民家ニ入テ一飯ヲ乞フ土民憐之
鹿食ヲ進セ且道ヲオシエテ曰是ヨリ奥へ諸鹿村ヲ
リ其処ノ人タル無道ナリ通り玉ハハ必害アラシ此
ヨリ十町餘過テ鮎返ノ滝ノ北ノ方へ山道アリ是但
州へノ本道ナリ其道ヨリ廣富野へカ、リ玉ハハ道
遠シトイへ共仔細候マシトイト懇ニコソ申ケレ義
光ヨロコビ財布ヨリ白銀ノ茶碗ヲ取出シ土民ニア
タへ厚ク懇志ヲ謝シテ落行ケル折節諸鹿ノ土民其
夏ヲ聞付ケ蒐ル重器ヲ持程ナラバ外ニモ能物アラ
ン棄レ取シト大勢打ツレシレシヤウ坂へカ、リテ

先へ廻リ廣富野ニ待伏シテ終ニ義光ヲ殺シケレ其
後ッノ靈當村土民へ訖シ此領分へ祭祀セヨトアリ
シ故ハ幡ト崇メ祭ルト云傳へタリ

鮎返瀧

村ヨリ十町餘り奥ニアリ諸鹿河ノ流ナリ此取ニテ
段々ト断崖高ク河水飛泉ト成テ下ル其アリサマ眼
冷シ年魚コレヨリ奥へノホリ得サレバ鮎返リト云
トイへリ昔ハ此取ヨリ北へ山越シテ廣富野へカ、
ルヲ本道トス當時若櫻ノ城主矢部山城守但馬ノ内
ヲ領地アリシ時年貢ヲ運フ牛馬道ナリシ由今ハ道

崩レテ往來ヲ絶ス
諸鹿村 枝村廣富

戸數七十軒 辻堂

氏神荒神 三宝荒神 六月

土産 厚紙 荻若 革草 栗草 山葵 炭

木地引 熊膽 猪膽 猿膽 人參 黃連 黃蘗

厚朴 桔梗 防己 其外藥艸多シ 獨活 蕨 蕨粉

蕨繩 ヒルカハ 船ノ綱

來見野ヨリ廿五町奥ニアリ民家ハ川ヲ狹テ兩側ニ
アリ若櫻ヨリ七十五町也當処民家多シトイヘ凡極

テ山中禾麥不生多ク荻若ヲ作り藥種ヲ掘リ炭ヲ燒

テ業トス村ヨリ北方ニ支谷アリ本谷ハ東ニ通テ北

五六町其詰リノ高山ヲゲレバチノ山ト云 在豹山之北 因

但ノ境ニテ南北ハ八東郡東ノ後ハ但馬國漆味郡ナ

リ又支谷ノ北ノ山ヲジレシヤウ坂ト云 細海谷ト當村トノ堺也

村ヨリ十八町登レハ山上平原其廣凡五十町四方ナ

リ是ヲ廣富野ト号ス縦横ニ道有テ東へ越レハ但馬

ノ漆味秋岡へ通ス北ハ同國ニ方郡海上村へ出ツ西

ハ細海谷ノ梨木坂へ下ルテ妻鹿野へ至テ凡七十町

也室曆ノ末比此山上ニ新田ヲ開キケレ凡水カ、リ

崩レテ往來ヲ絶ス
諸鹿村 枝村廣富

戸數七十軒此辻堂

氏神 九月六日

土産 厚紙 荻若 革草 栗草 山葵 炭

木地引 熊膽 猪膽 猿膽 人參 黃連 黃檗

厚朴 桔梗 防已 其外藥艸多シ 獨活 蕨 蕨粉

蕨繩 ルカハ 船ノ網

來見野ヨリ廿五町奥ニアリ民家ハ川ヲ狹テ兩側ニ
アリ若櫻ヨリ七十五町也當処民家多シトイヘ凡極

テ山中禾麥不生多ク荻若ヲ作り藥種ヲ掘リ炭ヲ燒

テ業トス村ヨリ北方ニ支谷アリ本谷ハ東ニ通テ北

五六町其詰リノ高山ヲゲレバチノ山ト云 在豹山之北 因

但ノ境ニテ南北ハ八東郡東ノ後ハ但馬國漆味郡ナ

リ又支谷ノ北ノ山ヲジレシヤウ坂ト云 細海谷ト當村トノ堺也

村ヨリ十八町登レハ山上平原其廣凡五十町四方ナ

リ是ヲ廣富野ト号ス縦横ニ道有テ東へ越レハ但馬

ノ漆味秋岡へ通ス北ハ同國ニ方郡海上村へ出ツ西

ハ細海谷ノ梨木坂へ下ルテ妻鹿野へ至テ凡七十町

也室曆ノ末比此山上ニ新田ヲ開キケレ凡水カ、リ

宜シカラスシテ不成

安藤義光之墓

廣富野但馬ノ二方道ノ西ノ傍菅原ノ中ニアリ墓誌

ニ松一本植ル古木ハ枯テナシ私部津黒ノ城主安藤

義光但馬へ越シト來見野ヲ出テ山越ノ片諸鹿ノ土

民八人此処ニ待伏シ猪鎗ヲ携へ立向フ安藤ハ頗ル

手利ニテ術ノカギリ働キ七人迄切留ケルガ太郎右

衛門ト云於乎者左槍ノ上手ニ終ニ突留ケルト也或安

藤ハ鉄炮ノ名人ニテ七人迄打留ケル義光死セント

スル片此鬱念惡疾ト成テ永ク汝ガ子孫ニ報シ我名

ノ一字ヲ残サント云テ死ケル果シテ其靈ノ崇リニ

ヤ一村癘疾不絶州民コレヲ賤シテ諸鹿癘ト云癘風

字ハ義ト癘ト訓同シキ故乎於今村民義光ノ故更

秘シテ不語若問人アレハ赤面シテ不答ハ其崇ヲ恐

レテナリト郡中ノ人口碑ナリ一説ニ本田義光墓廣

光ト善光和訓相同ヲ以テ本田善光ト訛

ルナルヘシ又或記ニ安藤吉美トモアリ

但馬越行程

諸鹿ヨリ東本谷道チンバケ山ノ麓迄五十町其ヨリ但

馬國漆味郡秋岡村へ百町都テ百五十町是秋岡越ト

云難取ニテ牛馬不通

諸鹿ヨリ北シシヤウ坂十八町登テ廣富野ニ至ル北

ハ同國ニ方郡海上村へ百五十町諸鹿ヨリ是ヲニ方越シ

或ハ波太越トモ云東ハ秋岡道ニテダシバ子ノ山ノ

麓ニテ諸鹿村ヨリノ本谷道トツニ出合テ秋岡村へ

出ル皆難取ニテ牛馬ノ通ナシ

日野田村支村中島野口

戸數九十五軒辻堂本尊虚空藏菩薩

氏神牛頭天王祭日九月十九日

諏訪大明神

古城丹比孫之丞出張之迹也

高野ノ下三十町許南側ノ山際ニアリ富枝ヨリ川越

若櫻二十町許リ南ニアタレリ當村中古ノ記録ニハ

日野田郷トアリ又或ハ日野田一保トテ別村也シト

云リ今若櫻郷ニ属スルハ寛文年中ノ制度ナリキ

因幡志卷之五 末

因府侍醫安陪 惟親 恭庵編

八東郡

丹比郷九ヶ村

按姓氏錄 大鷦鷯天皇御皇子瑞齒別尊誕生淡路宮

之時淡路瑞井水奉瀆御湯于時再枝花 日本紀作多遲花而今虎杖花

也云 飛入御湯危中色鳴宿称天神壽詞奉号曰多治比

瑞齒別命乃定多治部諸國皇子湯沐邑即以色鳴為宰

令領丹比部戸曰丹比遂為姓其後庚午年依作新家

加新家二字為丹比新家連也 云云 大鷦鷯天皇八

仁徳天皇是也瑞齒別尊ハ 及正天皇是也色鴨宿禰
ハ火明命三世孫天忍男命後男武額赤命七世孫御殿
宿禰男也此文ニ就テミレハ諸國郡卿ノ名ニ丹比ト
号スルハ 仁徳朝皇子誕生セシノ、セシ時御産湯ノ
故事ニ因テ定玉地名ト至今凡千四百五十年邈遠ク
ル其事跡紛乱ナク文字モ不變相傳變不思議ト謂ヘ
シ惣シテ郡卿邑里ノ名義其故實ノ傳ルハ希ナリト
云ヘ共谷上世故有定準知スヘシ

富枝村

戸數三十七軒 辻堂本尊茶師
氏神沢大明神一名池八幡祭日八月十五日
古城ニケ所
日野田ヨリ川越 若櫻川ノ流下ナリ此処ニテハ日野田川ト云フ 二十町許坤
ノ方ニアリ若櫻道ニテ村ヨリ高野村ヘ二十八町四
十七間ト云ヘリ村家ハ細海川ヲ狭テ兩方ニアリ川
ノ西ニアルヲ古村トス細海川渡ニ獨梁アリ又其レ
ヨリ上ニ日野田川アリ舩渡ニ是ヲ山崎ハ渡シト云
フ此津頭ノ上ニ破岩トイフ巨岩アリ其傍田ノ中ニ
馬蹄ノ痕ツキタル大石アリ其片蹄ノ痕ハ日野田村

ニアリト云へリ初當村ハ中古ノ記録ニ富枝郷トアリ又氏神ヲ澤大明神ト号シ或池ノ八階宮ト稱スルヲ以テ考ルニ上世湖水ノ中ニ鎮座アリシ故ノ神号ナラム歟其地今ハ皆田土トナリテ昔ノ形更ニ無シ總シテ此辺ノ地名山中ニハ思ヒ寄ガル古海トイヒ或ハ細海等ノ名義モ故アル夏ナルヘシ桑田碧海須臾ニ改ルノ譬モアレハ深山幽谷トテモ土地ノ變易古ノ吏今以テ推測スヘカラズ

古城ニケ所アリ一ツ山ノ城又三十人山ノ城別卷古城ノ部

ニ詳ナリニ十ニ詳ナリニ十ニ詳ナリ

南村支村

戸數六十軒 辻堂ニ南村本尊茶節嶋村本尊觀音地藏

穢多村三十戸

氏神牛頭天王 祭日九月十九日

古城 平城也城主不知

富枝ヨリ四所許リ西大川ノ傍ニアリ嶋ト云支村ニケ所アリ下ノ方ヲ穢多村トス嶋村ハ舊日野田ノ郷内ナリニ由近代洪水ノ汗川脉變今當村ノ支トナル因テ日野田ノ氏神ヲ祭ル古城アリ別卷ニ具ス

北山村

戸數三十二軒 辻堂本尊

氏神八幡宮 祭日

古城 城主丹比孫之
系別卷詳也

土産

富枝ヨリ四町三十五間下北ノ山下ニアリ若櫻ノ

往還筋ニテ是レヨリ下ハ日理徳丸ヘツ、クナリ古

城ヲ鷹山城ト号ス丹比孫之丞代々ノ城址ナリ更ハ

古城部ニ具也

日理村

戸數十一軒

氏神太刀太刀大明神 祭日

延喜式神名帳載之布留多知神社是也

北山ノ下四町餘ニアリ本谷筋若櫻道ニテ民家ハ街

道ヲ後ニナシテ屋造セリ村名日理ハ和名鈔所謂郷

ノ名ニテ日理ト訓リ此辺ヲ日理郷ト云ハ近縣殿村

ノ祭神和多理神社ハ神功皇后御時自筑前國大渡

島遷神主平此ト日理郷ノ名義此ニ起リト然ハ上世

故アル地名ナルニ今日理ト轉シタル更其故ヲ

知ラズ猶殿村和多理神社ノ条下ニ委シク記シテ後

ニ畧ス

志谷村

戸数十九軒 辻堂本尊地藏

氏神妙見社 祭日九月十九日

山神 同九月九日

山伏大善院 真言三宝院一流

北山ヨリ二十五町東細海谷ノ口ニアリ是ヨリ奥妻

鹿野迄五ヶ村ヲ細海谷ト云フ當村ヨリ北へ山越シ

ノ道アリ私部山志谷村へ出ツ三十五町也

細海中村 支村 小島

戸数二十五軒

氏神野々宮大明神

祭日九月十九日

土産 数寄屋炭 菘蓐

志谷ヨリ川越二町程奥南側ノ山下ニアリ

稗谷村

戸数十九軒

氏神妙見社

山神

古城 号澤見山

土産

中村ヨリ川越之六町餘り奥北側ノ山ノ内ニアリ隠

里に云へル如シ古城アリ別巻ニ記ス
横地村 支村 園 下、ヤマ

戸数三十二軒

氏神八丈荒神

祭日九月九日

山神

同

同日

古城

土産

芋

稗

稗谷ヨリ二十町許リ奥山ノ徧昇ナル所ニアリ其土
嶮阻ニシテ改々ニ切平シテ家造リス園下、ヤマ十
ト云支村一改離レテ山上ニアリサルニ因テ赤麥生

スル地ナシ第一稗ヲ作ル又麻芋ノ名物ナリ常ニ山
洋ス其洋地ニ作レハ甚カ豊作ナ古城アリサシタル

構ニアラス別巻ニ具シ

妻鹿野村

支村

柞原

滝谷

戸数三十五軒

氏神

土産

干蕨

上芋

菘蓆

水地

引物

炭

横地ヨリ九五町許奥河ヨ南側ニアリ此奥ニ柞原瀧
谷ト云出村アリ滝谷ニテ上品ノ乾蕨ヲ出ス尤名産
也又名瀧アリ高十二三文瀧谷ト号スルモ其故ナ

諸リニ高山但馬ノ國境ナリ山ノ名不知越ルニ道ナ
シ但シ本村妻鹿野ヨリ東南梨木坂三十八町登リテ
諸鹿ノ境廣富野へ至テ南へ通レハ但馬國漆味郡リ
ボウ秋岡へ出ルニ百九十五町ト云リ北ハ二方郡海上
村へ通ス行程諸鹿村廣富野ヨリジンジャウ坂ヲ下
レハ諸鹿村一至テ七十五町也若櫻へ行ニハ妻鹿野
ヨリ西南ノ山越シテ来見野へ出テ行ナリ

小畑郷十四ヶ村

按ルニ小畑八人ノ姓也姓氏録神別曰神鏡速日命五

世孫伊香色雄命之後小治田宿禰ト稱ス欽明天皇
御宇依磐間小田船田賜小治田大連皇孫曰武内宿禰
五世孫稻目宿禰之後稱小治田朝臣以上此兩姓何小
治田ナルニヤ上古此地ヲ領セシ人ノ姓ヲ呼モノナ
ラハ新真寺貞和年中ノ記録ニ小治田八郎左衛門
義範ト云者アリ太平記神南合戰延文中小幡出羽守ニ
作ル皆同郷東村ノ城主也是レ上古ヨリ相續シツル
領主ナル歟但シ中世此里ニ來住シテ地名ヲ呼テ氏
トセルニヤ

下徳丸村或作得丸

下 戸數八十軒

氏神白山権現 祭日

久保山寶相寺 浄土本寺鳥取真教寺

山伏快長院 三寶院一流

千貫清水

古別府ヨリ十九町余上ニアリ鳥取ヨリ若櫻ノ

往還筋ニテ上ハ上徳丸日理ニツケリ當村中百ノ記

ニ徳丸ノ保トス寛文以來小畑ノ郷ニイルノ村ノ下

モ外レニ名水アリ千貫清水ト号ス昔旅人ノ夏日此

処ヲ通り此水ヲ結炎暑ノ昔ニサラシノキケルカ多

クノ錢ヲ忘レ置ケレハ其レヨリ名ヲナシケルト也

上徳丸村

戸數三十軒 辻堂本尊觀音

氏神野ツミ大明神 九月十九日

古城

下徳丸ト相去ル一五町許舊出村ナリシガ今稅數ヲ

別々ニス若櫻道ニテ日理村一五町餘リ下徳丸ヨリ

日理ノ都テ十町四十七間ト云リ

飯原村 五村 甲土居 西土居

戸數四十八軒 辻堂本尊藥師

氏神高良大明神 祭日九月八日

蓮華庵本尊 岩淵村長源寺持

德丸ヨリ八川向フ南側ノ山下ニアリ上ニハ日野田

一六六町下モ八東村ノ十五町也村ノ後口ノ薬師此

ト云フ小坂ヲ越レハ小沼田谷ノ鍛冶屋村ニ出ル

東村 支村 宮ノ前 幸住

戸數二十軒 辻堂本尊薬師

屠兒村三十戸 在幸住

氏神實取大明神 祭神木花開耶姫尊 祭日九月十五日

古城 在實取社山小畑出羽 号曰墟号小畑城是也

土産 大作 菅蓐

飯原ヨリ十五町下小畑谷ノ入口ニアリ古城ハ村ヨ

リ南小畑谷ニ入テアリ大平記因幡待小畑出羽守居

城ノ迹ト云イ傳フ 別巻 具之

方代村 支村 高田 武石 作今 几竹 誤也

戸數六十三軒

屠兒村 在武石

氏神澤大明神 祭日九月十九日

觀音堂

土産 菅蓐

矢竹 在武石

杉角

栗柱

挽板

杉

皮炭薪 鱒 比良女

東村ヨリ五町許下モ小畑谷ノ口ニアリ東村ト小畑
川ヲ中カニシテ東西ニ相對ス北ハ大川ハ東ニテ舟渡
シアリ武石ノ渡シト云フ村ヨリ船場テ五町十二
間ト云ヘリ當外舩舟アリ小畑谷ヨリ出ル所ノ材木
挽板炭薪等舟ニ積或ハ筏ニ作り鳥取一運送ス是ヨ
リ上ニハ荒川ニテ舟エカズ下モ堰切有テ猶通セス
日下部ト福井トノ間ノ五川ヨリハ上ノ船岡一廻シ
テ千代川、出ルナリ武石ト云支村川ヲ隔テ兩方ニ
アリ南ハ穢多村也百姓ハ川ヨリ北ノ山下ニアリ若

櫻道ニテ上ハ徳丸下モハ古別府ニ懐ル村ノ後口ノ

竹山ハ皆矢竹也惣シテ此邊ノ風景奇勝ナリ南ハ河

原怪石巨岩磊砢トシテ清麗也北ノ岸ハ頗絶巖ニテ

高サ數百尺新真寺什物安元年中筆記曰武石ハ東河

市ト云ハ武直下九重ノ淵ニ臨ム鱒鮭ノ属此所ニ集

テ春ノ比村民柳ノ虫ヲ餅トナシ流下ニ至テ鱒ヲ釣

ル亦得タリ山中ニ楓樹多シ秋ノ末爛熳ノ時ハ蜀錦

ヲ翻ニ似タリ

岩淵村

戸數三十軒 辻堂本尊大日如來

氏神三浦大明神 在三浦村祭日九月十五日

竜雲山長源寺 黄檗禪本寺鳥取奥禪寺

土産 材木 葺板 枕板 炭 薪 菅蓆 牛房

才代ヨリハ町許リ奥ク小畑谷ノ西側ニアリ此谷ハ
入コ一ツニテ奥ハ二谷ニ別レタリ當村ハ其兩谷ノ
口ニアリ東ノ詰リヲ奥野村ト云フ西ハ仇崎村近九
ヶ村ノ間ヲ小畑谷ト云也每村ニ材木ヲ作ル枕板葺
板炭薪等ヲ出ス菅蓆ヨシ牛房ハ郡中ノ名物ナリ此
谷ニ生スル松茸ハ上三方ノ産ニ同シク香格別ニシ
テ國中ノ名産トス

三浦村

戸數二十三軒 辻堂本尊十一面觀音

氏神キヨトコ大明神 祭日九月十五日

土産同上

岩淵ヨリ十町余奥ニアリ但シ岩淵ヨリニ夕谷ニ別
レタル西側ノ谷隘也是レヨリ奥ニ枋原佐崎以上同
シ谷ナリ當村ノ上ニ倉谷ト云谷隘有テ八上ノ大江
谷ノ奥枋原村ニ通ル是ヲ倉谷越ト云五十町也

枋ヶ原村

戸數三十軒 辻堂本尊阿弥陀

氏神キヨトコ大明神在三浦町

薬師堂

窟堂 号岩屋山千手陀 本尊千手観音

寺領四石三斗

古城 号婆力城

土産 同上

三浦ヨリ二十町許奥ニアリ村ノ後ヲ西ニ越レハ綾木越シトテ知頭郡八河谷村ニ出ル七十五町也昔若櫻城下ノ時三倉谷ヨリ小幡越シトテ此谷ニ打越其レヨリ綾木ニカ、ルソノカミノ往還筋ニテ今ニ至

テ半馬ノ往來自由ニサレ共深山雪中ニハ半馬ノ足立バ村ノ向フニ古城址アリ小幡ノ婆力城ト号スルハ是ナリ委ク別卷ニ記ス

岩屋山千手陀

本尊千手観音

今寺領高四石三斗寛文七年ノ免狀有

土俗所謂小幡ノ窟堂是ナリ開基時代不知傳記ニ無シ昔ノ寺領ハ壹町三段三畝五歩ト云傳ヘタリ

佐崎村

戸數二十五軒 辻堂本尊観音

氏神八幡宮

祭日九月九日

土産 葺板

枋ヶ原ヨリ八町奥ニアリ西ノ谷ノ詰リニテ是ヨリ

東谷ノ詰リノ奥野村ノ山越シ十五町ナリ

鍛冶屋村

戸數二十一軒

辻堂ニツ本尊

觀音阿彌陀

氏神阿彌大明神

祭日

土産 大竹

當村ハ岩淵ヨリ東清徳谷ノ筋ニテ乃左美谷ト云支

谷ノ口ナニアリ東村ノ出村宮前ヨリ八町許リ奥ナ

リ乃左美谷ハ東ノ通テ飯原村山越十當所ヲ鍛冶

屋村ト号スルハ昔因幡小鍛冶景長住居セシ故ノ村

名也今モ村ノ中ニ鍛冶屋屋布トテ鏡屑數多出ル所

是レ其跡ト云傳フ此処ニテ鍛フタルヲ寺垣打ト云

一リ景長ハ同名三代皆名鍛ナリ初ハ法美郡宇倍山

ニ住居ス又高州郡竹生又湖山ニモ其跡ト云所アレ

ハ三代ノ間此所彼所ト轉住セシトミユタリ寛政四

年ノ初夏予此地ニ至テ其臼迹ヲミル村ノ中々程東

側今ハ助右衛門真右衛門ト云百姓ノ屋宅トナレリ

其二軒ノ敷地ヲ鍛冶屋屋鋪ト云石垣モ昔ノマ、ニ

テ高ク築上境内モ餘程ノ堀エナリ其兩家ノ境ノ溝
筋ニテ鍍屑ノ金出レハ疑フヘクモアラス

戸村

戸數十二軒

氏神阿蘇大明神

在銀冶屋村

土産

銀冶屋村ヨリ六町許リ奥ニアリ當村ニ昔ヨリ傳リ

シ地藏屋鋪ト云ヘル地アリ仔細シレス村ヨリ三浦

村ハ十二町許リ也

清徳寺村

戸數八軒

氏神地藏權現

祭日六月九月二十四日

金剛山清徳寺

真言本寺同郡新真寺

三山口ヨリ十五町奥ニアリ當村ノ奥又ニ夕谷ニ分

レテ東ハ茂谷村西ハ奥野村也ノ向フニミユル古城

ハ枅ヶ原ノ婆ヶ城ナリ此方ハ搦宇ト云ヘリ峻嶮ニ

シテ容易ニ登リカタシサレハ明和五年ノ叟トカマ

才代村源四郎ト云土民生処ハ當村ノ者ナリ五月ノ

比桑葉ヲ取ント此山ニ入テ桑ノ樹ニ取上リケルト

ヒトシク何モ知レバ長サニ間許リ圍三尺余トオホ



シキ大蛇ノ如キノモノ鬱蒼タル梢ヨリスリ下リテ
源四郎ガ右ノ腕ヲコスリ飛去リケルガ肌着ノ袖破
レ肌膚忽チ燦爛タル如クナリテ暫ク脳ミ煩ケル蟻
蛇ニアラズ長ヨリ不恰好ニ胴太リシトゾ山鮫ト云
モノニヤ但シ穿山甲ノ類ニヤ又合木蛇ト云モノ歟
ト人皆不審シアヘリ

清徳寺

金剛山ト号ス真言也同郡新真寺ノ末山タリ本尊三
躰ノ阿彌陀行基ノ作ト云傳タリ此寺中絶ノ比什物
記録等村長預リ置シ由焼失シテ開基年号不知土俗

云昔婆ヶ城全盛ノ由ノ祈願取ニテ堂ハ三間四面但
尺一間 飛驒木匠造ルト皆正目ノ丸柱ナリ天井組入
トス 蛇腹格子ニテ工匠ヲ尽シタルハマ今世ノ作ニ
異ナリ初メハ檜膚ブギナリシトカヤ中比堂傾キ屋
根崩レ地ニ倒テ後ハ菅第ニテ葺ヌ彼ノ崩レタル檜
膚ノ上ニ自然ト櫻ノ木生出テ見衰ナル花咲キケレ
ハ檜膚櫻ト呼ビケルトソ 花光銀色本ノ然ニ天明八
年二月中比ノ大風ニ吹倒レテ今ハ切り株ノミニテ
岩芽生出テ堂前ニ殘レリ若木ノ株廻又寺ノ入口右
手ニ古キ五倫ノ碑碣三十四五基アリ是レハ婆ヶ城

ノ至小松正勝代々ノ古墳ト云ヘリ扱村名ハ其マ、
寺号ヲ呼モノナリヤ

奥野村

戸數二十三軒 辻堂本尊地藏

氏神妙見社

十二社權現 祭日六月十八日

山本山千福寺 山伏持

土産

清徳寺村ヨリ右ニ入ル谷奥十五町許ニアリ此ヨリ
奥ニ村落ナシ村ヨリ西ヘ越レハ西谷ノ詰リ佐崎

十五町東ハ三倉谷一通テ四十町也若櫻ヨリ小畑越
シト云ハ此道ナリ當村舊清徳村ノ御圖帳ナリ近世
稅數ヲ分ケテ別村トナル當所山本山千福寺ト号ス
ル後驗村ノ古寺アリ本尊地藏行平中納言在原彫刻
ニテ昔知頭郡ノ山上八東ノ郡坂ニ安置セシヲ當村
一取リ皈リシト云ヒ傳ヘタリ

茂谷村

戸數十五軒

氏神 同奥野村

清徳村ヨリ左一入ル谷ニアリ是モト清徳ノ出村ナ

リ近世税數ヲ別ニス奥野ヨリ八町也谷ノ奥ヲ東へ
通レハ小畑越ノ道ニ出テ三倉村へ至テ三十三町十
リ奥野茂谷兩村共小畑ノ東谷ノ詰リトス

妙見社

村ヨリ二町余奥即千妙見山ト号スル高山ノ絶頂ニ
鎮坐アリ山下ノ鳥居ヨリ本社へ三十町余也往古ハ
魏々タル大社ニテ見槻谷四ヶ村安井ノ保ニ至ル迄
當社ノ氏子タリトナン今鳥居ガ平ト号スルモ當時
大花表ヲ建タル趾ト云へリ然ルニ中古乱世兵燹ニ
係テ灰燼トナル元録年中當社ノ土民此山ニ暮蒞ヲ

掘ル時ニ本社ノ廢地石櫃ノ下ニテ異形ノ神鏡四角六角
八角以上三面金幣三本取出セリ是レ即神躰ナラント今ノ

社内ニ網之金幣ニ本四角六角ノ鏡

福井村 支村 鳴村

戸數三十四軒 辻堂

屠兒村三十軒 在_二島村

氏神隼大明神 在_二隼郡家

古城 在_二天神山

隼郡家ヨリ七町許リ天神山ノ麓ニアリ東ハ八東川
南西ニ支川達テ船岳ノ大江川ニ通ス是ヲ船川ト云

日下部村 支村 上 三日 下部 植木
 天神山城
 村ノ南西ニアル山ナリ東面ニ菅靈ヲ祭ル山上ハ城
 址ナリ當時日下部高平城ノ至波多野家ノ砦ト云傳
 刃ノ土俗ハ東川ヲ硯川ト云フモ其故ナリ
 餘横七八尺石上クボミ形チ硯ニ似タリ因テ名ク此
 谷川ニ出ルナリ堰ノ中カニ硯石ト云フアリ堅一丈
 ゼス故ニ堰切ハ上ヨリ此小川ニ峽ヲ廻シテ流下チ
 日下部ト當村トノ間ニ至テ大川ニ堰切有テ船通

戸數六十五軒

氏神八幡宮 八月十五日 下部祭之

九日大明神 九月九日 上部 下部 祭之

山伏地福院 在上日下部村京

古城 号高平ノ城

土産 菘蓐

福井ヨリ十一町二十三間上ニアリト云一リ 但シ下

部マ八東川ヲ取テ安井大門ト相對ス但シ上下兩村

アリ下モ日下部ヲ本ノ村ト大船岡ヨリ 下野上野年

ツ、キテ若櫻街道ナリ村ノ後ヲ西ニ越レハ見槻谷

一 出ル志子部大坂越二東谷村下尾越又日下部
ハ舊人ノ姓也其先キ神別皇孫ヨリ出テ各其姓多シ
皇孫所謂開化天皇皇子産坐命之後日下部ノ宿稱
同ク連同ク管ト稱スル人々姓氏録ニ見エタリ按ニ旧キ事紀
ニ稻葉ノ國造 成務天皇御世彦坐皇兒彦多都彦ノ
命定賜國造トアレハ當時彦多都彦命ヨリ相續シタ
ル日下部氏ノ領知ノ地ナルヲ以テ其氏ヲ呼ビ來レ
ルニヤ 成務帝ヨリ今ニ至テ凡ソ千六百年文字モ
不變不思議ト謂ヘシ

古城

下日下部ニアリ高平城ト號ス波多野民部大輔數代
相傳ノ城址ト云傳タリ波多野隆平ノ墓城山麓ニア
リ隆平ト云人草創ナルヲ以テ高平ノ城ト号スルナ
ラン是波多野ノ先世ナルニヤ當村ヲ日下部ト号ス
ルヲ以テ考ルニ中古國待田公氏ト稱スルアリ其家
世々守護代タル名家ナリ取々神社ノ棟札等其姓名
ヲ記ス本姓日下部氏ニテ代々高ノ字ヲ以テ諱ニ約
ス曰ク時高類高高勝高家高潜等是ヲ以テ想フニ高平ト稱スルハ
田公氏ノ人ナラン日下部ト云里ノ名前ニ謂如ク上
古國司彦多都彦命ヨリ相續ノ苗字ナレハ其子孫當

國ニ留リ後世田公ヲ以テ氏トセシトミエタリ田公新右衛門其子新公高家等氣多郡富吉村ニ在城疑クハ當
又時ニ天正年中毛利元春ノ為ニ滅ビス
城ハ田公氏草創ニテ後波多野家在城シケルナラン
歟波多野ハ永祿二年四月北山ノ城至丹比孫之丞謀
計ニ因テ没落スト云傳タリ古城ノ部ニ委シ
千人塚

下モ日下部ノ山下ニアリ波多野家落城ノ氏討死シ
タル死骸ヲ瘞ミタル跡ト云ヘリ傍森ノ中ニ高サ四
尺餘ノ五倫ノ碑碣アリ波多野ノ一族久世某此取ニ
テ自殺シタル其誌ト云宝永年中祭テ新八幡宮ト崇

ムト云ヘリ

横田村

戸數十八軒

氏神八大荒神

祭日九月二十九日

岩宮八幡宮

曰ク波多野民部大輔靈神

下日下部ヨリ十二町許リ上ニアリ當村舊茂田村ノ
御圖帳ナリ近世稅數ヲ別ニス村ノ中ニ四圍餘リ
ノ樺樹有是レ波多野民部大輔ノ墓誌ナリト永祿年
中日下部落城ノ代此取ニテ自害ス其後千村民齋テ
岩宮八幡宮ト崇敬ス

茂田村

戸數三十軒 辻堂

氏神半頭天皇

八大荒神

觀音堂

上産 大竹 菅岩

横田ヨリ十町二十間上ナリト云リ是ヨリ隣村戈代

一七町三十六間ナリト當村ニ觀音堂アリ源左衛門

ト云百姓其本尊ヲ信仰シテ常ニ堂前ニ立テ合掌シ

ケルガ踏石ニ兩足ノ痕付タリト云傳フ其石今ハ已

ガ墓前ニアリ別卷圖繪ニ委シ

私部ノ郷二十一個村

此俗謂私部谷是也

此谷ハ南ハ若櫻ノ本谷筋北ハ法英郡大草谷ニ隣ル

谷ノ口ナハ八上郡ノ境ニテ下峯寺村ヨリ奥ハ姫路

村ニ至テ二十一村是ヲ私部郷ト云乾ヨリ良ニ通テ

其間三里余ノ谷隘也或説ニキサイナト云ハ昔安

徳天皇此地ニ潛居マシマス惣シテ天子ノ御坐取ヲ

都ト云此帝世ヲ忍ヒ玉フ故私ノ都ト云フ義ニテ私

都ト名クト是妄誕論スルニ不足私部ノ文字ハ和名

抄ニ載之上古ヨリノ地名也部ト都ト字形相ニ似タ

ルヲ以テ猥ニ附會ノ説ヲ生ス鹵莽ト謂ツヘシ和名
鈔ハ村上天皇天曆年中ノ書ニテ至今凡ソ九百年
也凡テ和名鈔取載諸國郡郷ノ名ノ其文字ハ皆ナ平
城ノ御代和銅神龜ノ比 詔命ニ因テ定レルマハト
ナレバイト舊キ更ニテ於今千歳余也 安徳帝當國
潛行ハ文治元年以降ニテ凡六百年許リ後今ノ其跡
ナルヲ時代ノ前後ヲモ不考好事者ノ臆説非判云モ
ナシ

下峯寺村

戸數三十軒 辻堂本尊阿彌陀

氏神六社權現

祭日九月九日

蓬萊山自性院

真言本寺馬取金剛院本尊
藥師土俗謂峯ノ系師是之

古城

在鷹ノ築山

私部谷ノ口々北側ノ山下ニアリ八上郡井古村ヨリ

ナリ村ノ後口ヲ北へ越レハ法美郡生山村へ道坂

凡ニ 三代寺餘戸杉崎岡益へモ通ス

峯之藥師

蓬萊山自性院ト号ス本尊藥師如來靈驗佛ト云傳フ

此寺上峯寺ト當村トノ間ノ山上ニアリ因ニ峰ノ藥

師ト云村ヲ峯寺ト号スルモ其故ナリ

古城

号鷹巢山天正年中秀吉公市場ノ城ヲ攻メ玉フ此

山ニ陣ヲ居ラレケレハ御本陣山ニ称ス

上峯寺村 支村 加藤橋

戸數二十軒

氏神

土産

下モ峯寺ヨリ六町許リ真ニアリ又二三町真ニ出村
有其前ノ道ヲヨギル小川ニ掛レル土橋ヲ加藤橋ト
云因テ橋ノ名ヲ呼テ村ノ名トス

御清水

王越道ノ谷隘ニアル名水也秀吉公鷹ノ巢山ニ御在
陣ノ時此水ヲ賞翫シ給フト云傳ヘ又御ノ字其故ト
聞エタリ

山上村

戸數三十三軒 辻堂本尊藥師

氏神牛頭天王 祭日九月十九日

土産

加藤橋ヨリ九町許上ニ支谷ノ口ニアリ但シ真ト口
ト兩村アリ其間六町餘ナリ

篠波村

戸數六十軒 辻堂本尊阿弥陀

氏神忌部大明神 祭日九月九日

義倉之舊跡

産物 割木 蒟蒻

山口山ノ上ヨリ十八町上ミニアリ真山ノ上ヨリ
道祖神坂ヲ越レハ是モ十尺町許也下峯寺ヨリ以上
四ヶ村北側ナリ村ノ上河岸ニ山ノ尾ヲタレ岩石峙
直下深淵ニシテ是ヨリ真ノ道ナシ村ヨリ獨梁ヲ渡
レハ向フハ八百繩手ニテ上下往來自由ニ當村氏神

忌部大明神ハ延喜式神名帳ニ載之美弊奴神社是也

義倉

是ハ上世諸國ニ 天子ノ御倉ヲ建テ國民ノ粟ヲ取
テ收置テ貧民ニ賜フ是ヲ義倉ト云其倉跡當村ニア
リ今百姓ノ居宅トナレリ土人御倉屋鋪ト云是ハ村
ヨリ法美ノ吉野村ハ越ル谷隘ヲ義倉谷ト云フモ其
故ナリ粟ヲ收ル法首卷ニ詳ナリ畧ス

山田村

戸數二十軒 辻堂本尊藥師

氏神八幡宮 祭日八月十五日

産物 大竹

當村ハ下モ峰寺ノ川向フ南側支谷ノ口ニアリ八上郡ノ坂井古村ヨリ十町許也山田山路花原三村ハ此支谷ニアリ谷奥ヨリ一ノ谷西ノ御門、越ル山道アリ花原越ト云花原村ノ下ニ委シ

花原村

戸數二十五軒 辻堂本尊藥師

氏神妙見社 祭日九月九日

山田村ヨリ八町許奥ニアリ支谷ノ詰リニテ村ノ上ニ外レヨリ南へ越レハ一ノ谷西ノ御門へ通シテ三

十町餘也前ニ謂花原越是ナリ東ニ越ルヲ茶笈坂ト云フ別府村へ十八町トス

山路村

戸數十三軒 山路 真山路

氏神山ノ神大明神 祭日九月九日

清水山蓮徳寺 真宗本寺鳥取淨覚寺

花原ヨリ七町許東ノ又支谷ニアリ山田ヨリ四町程東ナリ古城アリ鷹巢ノ城ト号ス市場ノ城攻メノ代

ノ寄城跡ト云ヘリ

大坪村

上大坪 下大坪

戸數五十二軒上下辻堂本尊阿弥陀

氏神諸木大明神祭日九月九日

古城号鷲ヶ城

山路ヨリ八町本谷筋ニアリ上下兩村アリ其間二町許ナリ上ニ峰寺ヨリ下大坪ニ川越シ十二町ナリ

古城

上大坪ニアリ鷲ヶ城ト号ス城主不分明或ハ秀吉公御在陣ノ趾ニ云イフカシ秀吉公御本陣ハ下峯寺ニアリ按ニ山名豊國ノ家士ニ大坪甚兵衛一之ト云者アリテ私部ニ佐スト後午藝州毛利家ニ一味シテ山

中鹿ムト私部ノ城ニ戰フ夏陰徳太平記ニミエタリ此郷古城多シ何レノ城ナルニヤ不分明トイヘモ當ルヲ大坪ト号ス是住居ノ地各ヲ以テ氏トスルノ例疑クハ一之カ城址ナルヘシ城ノ後コヲヤイチガ谷ト云フ山下田土ニ首塚ト号スルアリ方三間許ノ丘上ニ五倫ヲ安レス土民口碑ニ名有武士ノ首四十八級ヲ瘞ム田圃ノ字モ四十八田ト云ト云ヘリ

道場村

戸數三十一軒 辻堂本尊薬師

氏神貴船大明神祭日九月十九日

觀音堂

因幡願祀十一番札所

土産

上ミ大坪ヨリ北町上ミニアリ北側ノ口山ノ上ハ村
ト川ヲ取テ斜對門ナリ是レヨリ市場村マテ凡ソ三
十町ノ間ノ道ヲ凡百廻テ云ナリ昔雲州尾子ノ舊
臣山中鹿ハ市場ノ城ヲ攻メケルキ入敷凡百立ナラ
ベタル故ノ名ト云リ

觀音堂

當村ト別府トノ坂マシバト云処ニアリ
延命寺ト号ス往古大寺ナリシトカヤ何ツノ世頽廢

別府村

シケルヤ當処ヲ道場ト号スルモ其寺ノ名殘ナリ土
民口碑ニ觀音ハ別府ノ佛也其地ハ道場ニ屬ス堂ハ
篠波ヨリ修造ス是レ昔ヨリ因縁ナリト云ヘリ因幡
願祀十一番ノ札所是レナリ

戸數三十四軒 辻堂本尊阿彌陀

氏神武玉大明神

土産

道場ヨリ十町餘上ニアリ但シ南ノ枝谷ニ入り込
リ西ニ越レハ花原山田ハ通ス茶筥 當処別府ト号ス

ルハ上古王政ノ内階ノ人ノ館舎ノ地ナルヲ以テ
ナリ按ニ四分ノ保ニ古別府アリ當村ハ時ノ向寄ニ
テ置替タル新別府ナルヘシ中古鄉村ノ記録ニ油別
府トシルセル是也昔一ノ宮繁昌ノ内燈明科ノ神領
タリシ故斯云トイヘリ奉貢未淋ノ時ハ一ノ宮ノ社
人灯笼ヲ持テ來リテ村ノ中ニ釣テ竿貢ヲハタリ取
ケル由云傳ヘタリ

下モ津黒村

戸數二十三軒 辻堂本尊觀音
氏神牛頭天玉 祭日九月十九日

古城

土産

別府ヨリ凡九町上支谷ノ口ニアリ上津黒ハ小坂ヲ
越テ又南ノ谷ニ入ルナリ

古城

村ヨリ西南ノ山也別府ノ後市場ノ城主毛利豊元ノ
家老安藤義光城址ト云ヘリ天正年中没落ノ内義光
但馬ノ國一落行ント諸鹿ノ土民ノ爲ニ廣野野ニ横

死セリ諸鹿村ノ下

上津黒村

戸數三十五軒 辻堂本尊古ハ阿陀
氏神夕テカウ大明神 祭日九月二十一日

産物

下津黒ヨリ十町許小坂ヲ越テ東南ノ谷隘ニアリ市

ノ城ノ後口 南ハ新真寺鷲倉山ノ坂ニテ西ニ越レハ

殿村、通ス 平木越凡 七十五町

市場村 支村 河原 土居

戸數七十軒 辻堂

屠兒村北軒

氏神宮田大明神 祭日九月十九日
河原土居祭之

八幡宮 祭日八月十五日

観音堂 本尊観音 古ハ辻堂

古城

土産 大竹 滑石

下モ津黒ヨリ六町許リ上ニアリ上ニ津黒ヨリ谷道

ヲ東、十町餘出ルトリ道場ヨリ當村マテ凡三十町

直ニ通ルヲ凡百繩子ト云別府津黒ハ山下ノ脇道ナ

リ當處屠兒村ノ前ニギドウ大工田ナト云字アリ昔

毛利豊元此里在城ノ時城下ノ所屋ニテ岩櫻、通ル

馬驛ノ跡ト云傳フ

古城

村ノ後秋葉推現鎮坐ノ山ナリ當時毛利豊後ノ守豊
 元繫代ノ城址ナリ頼朝卿ノ時當國守護職大江中比
 山名家守護職ノ氏幕下ニ屬ス天正ノ初メ山名豊國
 毛利輝元ニ一味アリシカハ豊元亡同ク隨從シテ色
 利家無二ノ忠勤タリ然ニ雲州浪士山中鹿刈ニ攻メ
 破レテ豊元鳥取ノ城ニツボミケル時豊元薙髮當城
 ハ尼子ノ家臣等入替テ守レ之同三年吉川元春父子大
 軍ヲ卒シテ攻レ之相戦テ數會ニ時ニ長月半城兵炎服
 ニ送ルハ早勝邑ミスル時兩戦トアリケレハ等々ノ
 中香河兵部ノ大輔秋ノ嵐ニ落ル朝露ト脇付ヲ付ク

リケレハ其ヨリ第三四々目交ルニ表ハ句終ヘタリ
 敵味方市ノ正ガ突付ノ体優長ニシテ殊ニ城中勝利
 ノ意ヲ含ムト雖氏兵部ガ脇付安藝ノ威風ニ當城没
 落ノ機ヲ顯セリトサバメキケルト隆徳太平ニミエ
 リサレド城兵堪カ子竟ニ降参シテ皆元春元長ニ策
 仕シケレハ其レヨリ毛利家ノ持子城トシテ人奴ヲ
 籠置淨意豊元薙髮号亡還住アリシガ同九年秀吉公ノ爲
 ニ没落シテ豊元ノ一跡断絶セリ委クハ古城部ニ記
 大

野所村

戸數七十三軒 辻堂
 氏神天降大明神 祭日九月卯日

土産

市場ヨリ八町許上ニニアリ村ノ後口ニ山越ノ道アリ新真寺安井徳丸ノ通ス昔市場城下ノ時當処モ町屋アリシト云

覚王寺村

戸數十三軒

氏神王子権現 祭日九月十八日

庭三井山覚王寺 今山伏法泉院持之
鳥取本覚院支配

本尊觀音 真言 因幡噴礼十二番札云

野町ヨリ十四町許川越北ノ山下ニアリ市場ヨリ三

町許川ヲ取テ相對ス村ノ後ヲ北ニ越レハ法美郎松

尾吉野両村ノ通ス 滝坂越ト云三十町 往古覚王寺ト号スル大

寺アリシ由其寺号ヲ呼テ村名トス類顯ノ時代不知

今法泉院ト云フ修驗者持ノ觀音其舊迹ナリ

福地村 支村 寺土居 今熊

戸數六十軒 辻堂本尊阿弥陀

氏神十二社権現 祭日九月十九日

普門山大樹寺 曹洞禪本寺鹿奴讓奴讓傳寺

薬師堂

土城 弓台磯ノ城

産物

覚王寺ヨリ二十町許リ上ミニアリ野町ト川ヲ取テ
南北ニ相對ス其間三町許古城ヲ白磯城ト号ス毛利
豊元ノ出城ナリ當村大樹寺ハ毛利ノ菩提寺ニテ舊
市場村ニアリシヲ後ニ此村ニケツス村ノ上ミノ五
輪ノ碑碣ハ此出張ノ大將ノ墓ト云傳ヘタリ

麻生村

支村 日和澤

戸數四十九軒 辻堂 三木尊藥師麻生 觀音日和

氏神 大才 大將軍 祭日九月九日

産物 割木 蒟蒻

福地ヨリ二十町餘川向フ南ノ山下ニアリ但シ日和
澤ノ出村ハ川ヨリ北ニアリ村ヨリ南ハ山志谷ノ行
々北ハ落岩明野辺ノ谷ナリ

山志谷村

戸數十九軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神 妙見社 祭日九月十九日

産物 割木 蒟蒻

麻生ヨリ坂一ツ谷道二十町餘南ノ支谷ノ山中ニア
リ是ヨリ又南ノ難取ノ大坂アリ細海谷ノ志谷村ノ
越ル 志谷坂長サ私部ヨリ若櫻ノ本道ニテ牛馬往

水自由ナリ常村舊ハ細海ノ志谷ヨリ分レテ山内ニ
アレハ山志谷ト云フナリ古キ繪圖ニ常村ノ東ニ常
テ立野ト云村アリ今ハ民家モナク昔ノ村落ト云フ
所モ不知按ニ常村ヨリ細海ノ横地村、越ル取ニサ
、少イト云所アリヨキ畑數ヶ所アリ若シ立野ノ村
跡トモニヤ

落岩村

戸數四十軒 辻堂本尊地藏

氏神山口大明神

祭日十一月卯日
祭神天穗日尊云

観音堂 因幡順礼十三番之札所

古城

土産 炭 薪 水地引

山志谷ヨリ二十五町許北ノ山下ニアリ山志谷ハ
谷ナリ常村ハ本谷ニテ麻生村ヨリ八九町東ナリ遠
谷越トテ細海谷ノ横地村、山路アリ村ノ上ニ二駒
ノ蹄ノ痕付タル岩アリ神代天降タル岩ナレハヨニ
落岩ト号ス里ノ名モ其故ト云傳フ是ヨリ明野辺道
梵字平、十八町

古城

氏神山口ノ宮ト東ニ相對スル山也山下ニ玄番屋

敷ト云アリ毛利豊元ノ砦ニテ家老姫路玄番頭出張
セシ旭ト云ヘリ城ノ後口ヲエロビ谷ト云城ノ前ヲ
水ノ字ト云古城部ニ委シ

明野辺村

戸數二十八軒 辻堂本尊藥師

氏神妙見社 祭日九月二十三日

土産 木地屋細工 炭

落岩ヨリ三十六町真ニアリ深山幽谷ニテ田土少ク
多クハ薪ヲ樵リ炭ヲ焼ク村ノ真ヲ南ニ越レハ細海
谷ノ妻鹿野村六十町嫁ケル此當此明野辺ト号スル

ハ昔平家没落ノ代止彦ナキ御方此山真ニ隠レ住侍
ヒケルカ身マカリ玉テ御ナキカラ送ルキハ迄モ世
ヲ患ヒオハシケレハ深ク夜ニマギレ山路ヲ出玉ケ
ルガ此処ニテ夜明ケレハ明野辺ノ里ト云ヒナラハ
シケルトソ是レヨリ十八町南ニ棺槨ヲ休メケレハ
其処ニ梵字ノ經文ヲ瘞ミ堂ヲ建テ其誌トセリ今梵
字平ト号ス是レナリ或ハ安徳天皇法美郡下モ荒
舟ノ山上ニ崩御シ給フ其御葬送ノ清路氏云フ或ハ
是レハ二位ノ尼君姫路村ニ御カクレアリシ法美
郡新井村ニ葬リケル其時此処ヲ通り玉テ覺王寺ノ

滝坂ヨリ法美郡、越玉ノ跡ニ氏云フ何レカ是ナル

モ不知

菟字ガ平

明野辺ヨリ十八町南道ノ傍ニアル破レタル四ツ堂

是レナリ落岩ト雨村

姫路村

戸數二十六軒

氏神山神 祭日秋彼岸ノ入

辻堂本尊千手観音 号普光山清水寺因
幡頌礼十四番札所

古城 号幡
ノ山

土産 炭 熊膽 猪膽 川獺 山椒 魚

明野辺ヨリ十五町北ノ谷隘ニアリ其間坂道十二町

之是私部谷ノ詰リニテ福地ノ大久呂美山ノ後陞十

リ東南ニ聳ヘタル高山ハ因住ノ娘ノ扇ヶ山ニテ嘗

村ノ隈ナレハ是ヲ姫路ヶ山ニ号ス北ハ法美郡大

萱谷ニ隣テ上ニ荒船村ハ三十六町ナリ其郷ニ至テ

山脊連岡葛鬱トシテ村落雷盆ノ底ニ在ルガ如シ実

ニ四塞ノ絶地ナリ村ノ真ニ段々ト切り平シタル所

ヲ平家屋敷ト云フ昔平家ノ落人栖ケル墟トテ今ニ

至テ土ノ焼物ノ器ヲ掘出セリ或説ニ此里ヲ姫路ト

号スルハ平氏ノ官女數多住ケル故ノ村名ト云フ按
ルニ姫路ト云フ地各所々ニアリ氣多郡濱ニモアリ
他國ニモ亦多シ皆ナ是レ上古故アル地名トイヘハ
官女ノ説モ信シカタシサレモ位殿此里ニ住玉フ
ト云口碑モアレハ當處ノ姫路ハ格別ナルニヤ
山ノ神大明神

村ヨリ一町許東森ノ中ニ鎮坐アル氏神ナリ土民口
碑ニ安德天皇ノ靈魂ヲ齋ル昔天皇法美郡下モ
荒船ノ山上ニ潜居マシマス此里ニハ殿上人或ハ官
女ノ輩窻旋ナリシカ天皇崩御ナリ玉ヘハ此地ニ

尊靈ヲ崇祭セリサレモ其年月日ヲ不知秋ノ彼岸ノ
入りトノミ云傳フレハ今ニ彼岸ノ初日ヲ以テ祭日
トストイヘリ

普光山清水寺

氏神ノ社ト同シク森ノ中ニアル辻堂是レナリ本尊
觀音ニ躰アリ其一躰千手觀音ハ行基ノ作ニテ姫路
玄番ノ頸持佛ト云傳フ因幡順礼十四番ノ札ニナリ
村氏傳、云此辻堂舊飛驒ノ匠々造レル所也シク近
世癸火ノ爲ニ焼失シテ其後再興セリト按ルニ清水
寺ト号スルハ別ノ古寺号ナルヘシ疑ヲクハ其寺類

廢シテ本尊ヲ此堂ニウツシタル故其山号ヲ称スル
ナラン子細ヲ問ヘテ知ル者ナシ舊シキ変トミエタ
リ

五倫之壇

辻堂ノ森ヨリ半町許東ノ山下ニアリ方三間許高三
尺余石垣ヲツキテ其上ニ五倫數多安ニス其大ナル
ハ高サ四尺ヨリ五尺許リノ碑碣七基小短ナルモノ
四十基許リノ其中カ程ニ圍ミ六尺許リノ櫛木ノ樹
生タリ其外平地或ハ山ノカタサカナル所ニ安ニス
ル五倫磊々トシテ其數ヲ不知村民コレヲ平家墓ト

祢ス近年其崩レタル掘ヨリ短カヲ掘出セルアリ按
ルニ此地ハ彼普光山清水寺ノ空壇ナラン故郷民口
碑平氏ノ落着ヲ云傳フモ豈疑フヘケンヤ

一ツ目ノ雜貨

氏神ノ森ノ後口ノ川ニ生スル雜貨ハ皆ナ片目ノ人
以テ奇性トス岩櫻ノ御用三村四社権現ノ御手洗池
ノ鯉モ一眼ナリ按ルニ信州諏訪湖ノ鯉鯉參州池鯉
鯉ノ池ノ鯉等餘獨眼ナリ其他ニモアルベシ是レ土
地ニ掘テ然ルモノニヤ

四分ノ保

古別府村

戸數六十軒 辻堂本尊阿彌陀

氏神日高見大明神 祭日九月九日

土産 朝倉山椒 鮎

本谷筋ナリ武石渡場ノ下六町五十二間ニアリト其

間小坂アリ鳥取ヨリ若櫻一通ル街道筋ニテ才代ヨ

リ川越十二町四間北ニアタレ少古別府ト云フハ上

古王政ノ時因幡ノ奴官住ノ地ノ名ニ事ハ首卷ニ詳

ナレハ爰ニ畧ス

新興寺村

戸數五十五軒 辻堂本尊阿彌陀

氏神十二社 權現 祭日九月九日

波羅密山新真寺 真言本寺今鳥取京勝院
本尊觀音因幡順礼九番

土産 竹 カラ竹 朝倉山椒 荻若

安井ヨリ十町七間上ニアリ若櫻道ニテ古別府ノ五

町四十一間トス新真寺ト云古寺街道ヨリ三町許山

字ニアリ其寺号ヲ呼テ村ノ名トス

波羅密山新真寺 因幡順礼九番札

元明天皇和銅年中草創ニテ當時公家武家崇敬ノ古

刹タル夏日記ニ分明也或ハ行基ノ開地ニテ本尊延

命觀音千手觀音ノ二尊共ニ行基ノ作ト云傳ヘタリ
千手ノ像ハ中古此寺類發ノ片鳥取湯処金剛院ニ移
シテ今ニ彼寺ノ本尊トス是ナリ赤山ニケ寺金剛山
清徳寺在小般若山寶相寺在徳丸村今轉ニ号ナリ當寺
波羅密山ト号スルヲ以テミレハ金剛般若波羅密ノ
秘徑一部ノ首題ヲ三ツニ分タル山号ナルヘシ安元
年中高倉ノ院御宇年号四至傍尔ノ記録ニ曰限東ハ
金峯山金剛寺ノ峯得北今俗コレガ寺ト云坂
樓ノ礎限西ハ大谷山ノ鼻横道蜂屋井ノ口上町ノ坂
ヲ今大門村田土ノ中蜂屋繩子限南武石八束河之小
ト云是ナリ寺ヨリ凡五町

部府ノ坂武石ハ竹市村ノ渡ノ嶮限北ハ石塔鷲倉
山ノ峯津黒ノ坂津黒ハ私部谷也今其所ヲ平本殿
ヨリ凡都ヲ東西七十五町南北凡四十町也近縣大門
村ト号スルハ當寺山門ノ跡ナルヲ以里ノ名トス花
村ハ花園ノ地ト云ヘリ金峯山金剛寺山大宝寺
ト号スル昔ノ塔頭ノ廢地ニテ幽谷ノ字ニ淺レリ是
皆寺領ノ境ヲニテ堂塔僧房モ大ナル構ナリシト
也然ニ中古乱世ノ時イツトナク寺領モ幾クナリ次
弟ニ衰廢シテ僧侶モ退散スサレ共佛宇僧舎幾恙一
人ノ住僧眞言ノ餘流ヲ汲瑜伽三密ノ法水ニ心ヲス

マシ居ケルカ慶長ノ末比卒去シテ法流相兼ノ門弟
モナカリケレハ八上郡長谷寺在長瀬村ノ山中号佛
性山下今為廢地ト
ノ往持法友ノ因有テ佛具什物等彼ノ寺ニ送リケル
其後三十年許リノ間來往ノ僧モナカリケレハ堂塔
佛閣破レ朽チ孤狼ノ栖トナリハテケル時ニ正保ノ
比ニヤ洛陽ノ沙門盛範トカヤ云僧行脚シテ比ニ
通リ此寺ノ由来ヲ尋子聞キ佛像叢中ニ顛倒シ玉フ
アリサマヲ嘆キ忽チ誓願ヲ發シ留足シテ諸人ヲ觀
メ庵宇ヲ修造ス所傳ノ記録等ハ村長預リ置キシヲ
承出シテ當寺校割ノ秘宝トシテ寺中ニ納ム之是ヨ

リ真言ノ法流又相續シテ今ニ至レリ其筆記ト謂ハ
尊氏卿手筆ノ御教書建武二年右兵衛ノ督義直朝臣ノ刺
物勸應二年今川前ノ駿河守頼貞注進狀觀應元年山名伊豆守
時氏裁許狀貞和二年其外ノ教宣ノ写寺領寄附ノ證文等
數通アリ國中古ル寺多シトイヘ凡如此日記ヲ傳ル
當寺ノ如キハ未_レ聞之赫赫タル靈場今鳥取最勝院ノ
末山タリ星ウツリ物変ルノ謂レ一人ノ貧僧落日ニ
燈ヲ燃ルアリサマ表レナリ或ハ此寺天正年中秀吉
公來伐ノ兵火ノ為ニ灰燼ストモ云ヘリ

安井村

戸數百四十七軒 辻堂本尊阿弥陀

氏神淺寄大明神 祭日九月九日延喜式神名帳伊蘇佐只神社是也

制札場 驛馬三疋

土産 菘若 御座

新真寺村ノ下モ十町七間ト云ハリ若櫻街道ノ馬驛

ナリ安井ト云ハ故アル地名ニヤ他國ニモ數多アリ

旧記ニハ安井ノ保トアリ又此辺ニ加陽ノ保ト云モ

アリ今田上ノ字ニ淺レリ當而菘若ヲ作ル安井新田

トテ上品ナリ

淺寄大明神

延喜式神名帳載之八上郡伊蘇乃佐只神社 座トアル

ハ是也八上八東舊一郡ナレハナリ神號淺寄ハ川ノ

名也 今為田上ノ字ト是レ上右ノ川取此神淺寄ノ瀬ヨ出現ス因テ名

トスト云按ルニ伊蘇乃佐只ハ磯之崎也只ハ扱ノ畧

字也神名帳脇仮名只トアルハ後人ノ作誤リニ別卷

神社考ニ詳ナレハ此ニ畧ス

大門村 支村 花

戸數五十二軒 辻堂ニツ 本村本尊地藏

氏神 天王大王相殿 諏訪大明神 祭日九月九

古城 在山上下部城主波多民部出張跡

土産 桑 紙子 真綿 水綿 漆 葎

安井ノ下モ十一町余ニアリ或ハ十五町七間モ云一
リ若櫻道ニテ是ヨリ一町餘下ニ花ト云支村ア昔此
辺迄モ新真寺ノ境ヲニテ當地ニハ山門アリシ故ノ
村名ナリトソ花村ハ其比ノ花畠ノ跡ト云傳々ト

殿村

戸數五十軒 辻堂

氏神和多理ノ神社 祭神 猿田彦ノ命 延喜式神
名帳載之 祭日 九月十九日

土産 漆 真綿 水綿 桑 紙子 葎 有鶴

銅取船

大門ヨリ七町五十六間 或七町四十間 下モニアリ若櫻ノ

往來筋之村ノ後口ノ高山猫山ト云フ其東ノ谷隘ヲ

東ニ越レハ私部ノ津黒村ハ出テ七十五町ニ是ヲ平

水越ト云大門花村ヨリ越ルモ此道ナリ初殿村ト云

里國中ニ數多アリ是ハ中右軍國ノ氏國侍処々ニ城

ヲ築キ居ケル中カニモ名アル武士城下ニ町ヲ立テ

一雨ヲナス其所ヲ呼テ殿村ト云フトイヘリ述傍日

下部村ニ古城アリ波多野民部城地ニテ數代ノ名家

ニ是等ノ館舎肆ノ迹ケルニヤ

和多理ノ神社 一座

延喜式神名帳所謂八上郡和多野ノ神社是レ也八上東
一舊為郡社説云フ祭猿田彦ノ命 神功皇后自筑前ノ國
大渡ノ嶋遷神主ヲ于此因テ和和多野ノ神云云土俗
今大多羅大明神ト呼モノ大和多理ノ訛謬ナラン歟
和漢三才圖會ニ曰和多理ノ明神在八上郡社領三十
五石祭神猿田彦ノ命 景行天皇ノ朝祭之云云按ル
ニ 景行帝ノ御宇始メテ筑前ノ國ニ齋テ 神功皇
后ノ御世當國ニ遷坐ナルニヤ時代少シ異心トイヘ
氏至今九二千歳其舊趾紛乱ナシ可崇古社ハ天正ノ
兵火ニ燔滅シテ神宝社記等皆灰燼トナル神木松樹

ナリ圍一丈八尺餘長九十四丈空枝燧爛ス其比ノ餘
煙ノ跡ト云ヘリ二候竹近年枯レテナシ水石アリ和
多理ノ長壽石ト号ス天明年中此ノ石下ニ神鏡ヲ掘
出ス五寸厚サ四歩許裏鶴亀ノ
横椽アリ今又當社ノ棟札アリ左ニ記ス
神前ニ納ム

正慶二年五月九五日
奉造營 伊弉諾尊 伊弉冊尊
萬民快樂 奉行 竹村 弥七郎宗勝
專治皇依勅願草創

神主五位上
大川左近太輔重宗
堅三尺三寸
横七寸

是ハ後醍醐天皇伯耆ノ國ヨリ潛幸ノ時近隣西ノ御
門ノ山中麓山ノ圓入寺ニ一ト夜皇居ナリテ其地ニ

諾冊二神ヲ勸請シ給ヒ神廟創建ノ時ノ棟札ナリ
尊治皇ハ即チ天皇ノ御諱也然ルニ天正中秀吉公彼
ノ神祠ヲ焼拂ハル時ニ社務大川某其棟札ヲ取テ當
社ニ納ム今ニ傳テ四百五十年餘正慶ヨリ寛政ニ至ル殊勝ト
謂ツヘシ大川ハ本姓千日氏元祖ヲ民部ト称ス延喜
年中ヨリ相續シテ今ニ至ルト云ヘリ大川カ遺書尸
リ別卷筆記ノ部ニ載之

一ノ谷村 支村 塚 中村 土居

戸數四十八軒

氏神和多理ノ神社 在殿村 祭日

土産 燈心草 席 中次 桑 楮 真綿 水綿 漆

菘菜

殿村ノ下モニアリ其間七町十二間或六町三十間ト
云若櫻道之村ヨリ北ハ山越スレハ私部ノ花原村ハ
出ル

西ノ御門村 本名小嶋村也 支村 山根 土居 或茶 屋土 居共云

戸數六十軒

氏神山影大明神 祭日九月九日

古城二

土産 燈心草 席 桑 紙子 真綿 漆 水綿

菖蒲

一ノ谷之下モニアリ其間七町二十九間或六町十但
シ往還ニ出茶屋アリ茶屋ノ土居ト云本村ハ二町餘
大川ノ方ハアリ川向ノ隼郡家今謂花ニ八町許リ舟
渡シアリハ上ノ船世ハ二十五町北ハ鳥取道ニテ庄
郡家村ハ二十四町三十五間或二十一町五郡界迄九
町三十二門鳥取ヨリ三里十二町十九間ト云ヘリ當
村舊ノ各小郷村中古郷村ノ記録ニハ西ノ御門ノ
社ト記セリ又或記ニ曰此社滅却シテ今ハナシ絶
スル莫久シキ莫ニ非ス村ヨリ遙山真ニ社地アリ其

社ノ二玉迹キ比迄淺テ上野村ノ藪ノ中ニ捨置タリ
シカ其後ハ不見上古何レヤラニ王位此ニ住玉ヒ
其レヲ神ニ祝ヒケル故西ノ御門ト云トヘリ以下
畧今按ルニ西ノ御門ト号スルハ 後醍醐天皇伯耆
ノ國ヨリ潛行成テ此地ハ諾冊二神ヲ勸請シ玉フ其
時龍山圓入寺茶屋土居ヨリ二十四五町北ノ山林中
正ノ兵火ハ入御マシマス時ノ人西ノ國ヨリ来リ玉
ニ燔滅スレハ西ノ御門ト称シ奉ル其土俗竟ニ此ノ名
トナリヌト云和多理ノ社司大川氏遺書ニ自此地
惣シテ邑里ノ名ニ東西上下ノ差別アルハ必ス傍同

名アルハニ當處西ノ御門有テ東ノ御門ナキハ其故
ナルハシ郷士竹ノ丹稱七郎定勝ト云者ノ家ニ一ト
夜御座ケル時蕎麥羹ヲ奉ル主上最感有テ其名ヲ尋
子玉ヲ定勝蕎麥子リト申上ケケルサラハ歌ヨメト
詔ケレハ定勝畏テ

ろん〜眉わうき化粧地ばう〜みきいふど之り

トナムヨミケルトソ上五文字ハ村民志レテ不傳
トナリ

或説ニ上五文字ハ落書ヤナリトイヘリ按ルニ後
醍醐帝當國行幸ノ變諸史ニ不載トイヘ氏和多理ノ

神社ニ傳ノル棟札ヲ以テ明證トスヘシ太平記曰元

弘三年

棟札ニ謂正慶ニ
年即元弘三年也

五月二十三日

伯耆ノ卷
作十八日

伯耆

ノ國船ノ上ヲ御立有テ腰輿ヲ山陰ノ東ニソ催サレ

ケルト云是レ播磨ノ書字山一行幸ノ折節ナリ其

間ノ清路不分明ト虽氏山陰ノ東トアレハ當國ヲ通

リ玉ハテ播磨ハ越シ給フヘキマウナシ伯耆ノ卷ニ

船ノ上ヲ出玉フハ五月十八日トアレハ當處着御ハ

二十一日頃ニハ不過ヘシ参考太平記書字山人記録

ヲ載テ曰ク五月二十六日主上自伯耆國令著當國千

本ノ宿ト是ヲ以テ考ニ當處ニ仙駕ヲ体給フハ二三

日ノ間ナルヘシ大川中務カ遺書筆記部ニ名和長年
裁許トシテ小島ノ郷士竹ノ丹彌七郎ノ神祠修造ノ
ノ一ヲ命ストアレハ御旅行ノ中ノ御發願ニテ是レ
ヨリ若櫻ヲ經テ播磨ヘ越シ玉ヒケルトソ

二王堂

茶屋土居ヨリ半町許北ノ山下ニアリ前ニ記ス西ノ
御門ノ社ノ二王迹キ比迄下野村ノ藪ノ中ニ捨置キ
ツリシガ其後見エスト云フハ是ナリ但シ社ノ二王
ト云フハ間違ナリ是ハ滝山圓入寺ノ山門ニ在シ二
王ニテ今觀音ト一岳ニ安ス觀音モ彼ノ寺ノ佛ト云

寛永年中此地ニ遷遷セリ圓入寺ハ舊シキ寺ニテ
後醍醐天皇此地ニ諾冊ノ神社ヲ勸請シ玉フ時此寺
ニ少間皇居ノ跡也災ルニ天正年中秀吉公入伐ノ
時寺モ神祠モ焼失シテ跡形ナシ其時一應ト云フ荒
法師彼ノ二王ヲ脊負テ隣邑ニ火ヲサケタリ本尊ハ
住持ノ僧コレヲ守護シテ船置ノ西橋寺ヘウツス今
ノ本尊阿彌陀如來是レナリ其比西橋寺ハ小地ノ草
庵ナリシ由圓入寺滅却以來本尊彼ノ地ヘ御座スレ
ハ圓入寺ノ檀越此辺ノ村々私部谷ノ民家マテ皆ナ
西橋寺ヘモトツキケレハ俄ニ繁昌ノ寺トナリシト

ソ圓入寺廢地ハ此処ヨリ二十五町許奥ニアリ佛閣
僧舎鐘樓ノ跡礎等ニ至ル迄依茨トシテ今ニ残レリ
東西ニ經塚ア故アル靈場ナルベケレト傳記ナケレ
ハ仔細不知此奥ニ瀧アレハ滝山ト号ス瀑布ノ本ニ
山ノ神鎮坐ノ深林アリ北ハ私部、通シテ花原山田
ニ近シ

抱瘡ノ神

二王堂ノ前ニ七圍許ノ銀杏樹ノ大木アリ是也十二
月三十日ノ夜此ノ木ニ抱瘡ノ神ヤドルト云傳ヘテ
諸人はヲ崇敬ス其銀杏葉ヲ乞ヒ請ケ護袋ニ収テ呪

咀トス

諾冊ノ神社

前ニ記ス 後醍醐天皇勅願ニ因テ正慶二年五月二
十五日草創タル克棟札ニ分明ナリ初滝山谷ニ鎮座
有シガ天正以來當村氏神山影大明神ノ社地ニ遷坐
ス今大木ノ杉二本アリ是即今二神ヲ祭レル神木ナ
山影神ハ和多理ノ神社ノ末社ナリキ

嫁泣田

通り谷ト云フ所ノ谷隘道ヨ北ノ田ノ中ニアリ誌ニ
小松一本ウヘタリ昔此里ノ百姓ノ嫁夏ノ初メ早苗

ヲウエケル時姦シシキ姑アリテ嫁ニ云ヒケルヤウ
我レ若カリシ片ハ此谷ノ田ヲ一日ニ種尽シタレサ
ナクハ家ニ飯ラス嫁女モサソアラント云一リ嫁
後ヲフリカヘリミケレハ日己ニ西ニ傾キタリ此
ハ谷セマケレビア午一コ午一ト田ノクホ多クマダ
一日二日ノ業ニ種尽スヘキナラ子ト姑ノクリコト
オソロシクテ心悶エ哭泣シテ終ニ死ケレハ其マ、
死骸ヲ其處ニ葬リケルトソ其レヨリ嫁泣田嫁コ口
シ田共云ヒ傳ヘタリ

古城ニケル

一ヶ所ハ村ノ後ニアリ子細不知尤舊墟ト見エ又一
ヶ所通り谷ニアリヨシガ城ト号ス松林鬱茂ノ地ニ
テ今禁山トス後ハ峻峭ニシテ真下ハ東川ノ深漂ナ
リ其処ヲヨシ淵ト云下モ野村ノ後口ハ久能寺村ヨ
高サ数丈ノ絶壁郷民口碑ニ昔當城主厲風ヲ患フ其
也宝曆年中作レ之
病若ヲ憤ヲテ馬上ナガラ此淵ニ飛ヒ入り身ヲ投テ
死セリソレヨリ呼テヨシ淵ト云フヨシガ城ト号ス
ルモ其故ナリト厲風ヲヨシ
ト云國方言或ハ城主ハ波多野氏ト
云按ニ近縣日下部ノ城多ク波多野民部ト称ス當時
数代ノ名家ナレハ其一族ノ居城ノ迹ナルニヤ委シ

不知又當村百姓高木傳右衛門ト云者アリ日下部波
多野氏家老ノ後ト云一リ村民其家柄ヲ稱シテ御部
屋ト呼フ其故ヲ不知

花房郡家村

戸數二十八軒 迂堂本尊 茶師 觀音

氏神集二十五社大明神 祭日九月二十五日

無山号 光福寺 真宗本寺京東本願寺

要害之舊迹

土産 薪

西ノ御門ヨ川越シ八町 八粟川船渡有但南見觀谷ノ
賃取一人二錢宛

口ナニアリ當處舩舟有テ谷奥ヨリ出ル薪ヲ積テ鳥
取一運送シテ交易ス又此里本名集村ナラム此集明
神ノ鎮座アリ按ルニ集ノ神社京都ニモアリ延喜式
神名帳載之其ト此ト同神歟不分明トイハレ故アル
神号ナラム凡ソ神号ハ其地ノ名ヲ呼モノ最多ニ又
神ノ名ヲ呼テ里ノ名トスル例モ少ナカラズ皆ナ是
レ故實ニ想ニ今此村ヲ花房郡家ト云花房ノ擬ヲ不
知恐クハ此集ノ訛謬ナラム歟ヤナハ横通ノ詞ニテ
ウツリ易ク土人ハナフサト云フヲ文字ニ受テ花房
ト書来リシナル一シ又郡家トハ昔 皇政ノ時郡司

此里ニ官住シテ當郡ノ租稅ヲ勘定シ諸公事ヲ取捌
ク奉行所ノ字ナリ譬ハ今世ノ代官ニト云フニ同シ
大郡ニハ郡家ヲ二三ヶ所モ置ク也小郡ハ二郡三郡
ヲ合テ郡家ヲ一ヶ所ニモ置トシ是レ本朝ノ古制ニ
テ何國ニモ郡家ト云郷村ノ名多キハ其故ナリ前ニ
記ス如ク八上八東ハ舊一郡ニテ國中ノ大郡ナルヲ
以テ郡家兩村ニアリ庄郡家今屬八上以レ在當處隼郡
家ト号スルモ地名ヲ呼テ分別シタルニ首卷ニ委ク
記タレハ爰ニ略ス村ヨリ八上ノ船聖制扎場迄十七
町三十七間ト云ヘリ

茶筥擗

村ノ中ニ五圍余ノ擗アリ樹下ニ荒神ノ禿倉ヲ安ス
村民口碑ニ上古此処ニ擗アリ高サ數百間山ノ如シ
海上數十里ニシテ見之其形如茶筥コレヲ因幡ノ茶
筥樹ト名テ船ヲ乘ルモノ的トス其木拵レテ今ノ擗
ハ其若芽ナリト云リ

要害

村ノ中程北側ニアリ横一町許與行三十間餘表ノ方
三方ニ堀ヲホリテ日下部ノ硯川ヲ堰入レタリ堀ヨ
リ村ニ高土牛ヲ築廻シ後口ハ切り涯ノ要害也昔日

下部ノ城主波多野氏ノ家老松田其出張ノ跡ト云フ
福井村ノ古城天神ニ作り道ノ跡タエノトニ残レリ
其家老ノ末葉農長トナリテ今ニ此構ノ村ニ住ス村
民コレヲ真ノ家ト称ス天和年中御家中深尾角馬ニ
父子三人殺サレケル百姓ナリ今モ子孫相續ストイ
氏迄季零落セリ以前ハ土宇ノ高サ二門餘ナリシ由
今引平シテ並木ヲ植テ土宇ノ形僅ニ残レリ掘ニハ
鯉鮒多游躍ケルカ迄キ比下モ一方ノ土宇ヲ崩シテ
埋地トナシケレハ今ハ真モスマス

上野村

戸數七十軒

氏神野野宮大明神祭日

土産 席

草郡家ヨリ六町許西ニアリ産物御座ヲ打ツ上野席
トテ尺不足下品ナリ當村舊ノ名野村ナルトシ祭神
野ノ宮ノ神号ヲ呼テ村ノ名トスル歟但シ村ノ名ヲ
呼テ神号トスルニヤ不分明トイハレ兩義正ニ古キ
例アリ然ルニ今此里ヲ上野村トヒハ上ノ野村ヲ下
野ト云フハ是モ昔ハ上一郡タリシ時同名兩村有テ
分別シカタキ故東ノ一村ヲ上トシ西ノ一村ヲ下野

村ト云ヒタル也今ノ如ク二郡ナラハ八上ノ野村ハ
東ノ野村ニテ能ク開ヘタルト今上野下野ト云フハ
昔一郡ノ時ノナラハシノ殘ルニソアラム又氏神野
野宮大明神ハ山城ノ國小倉山ノ辰巳ニモ有リ攸記
主基ノ兩宮アリテ神明ヲ祭レリ按ルニ續日本紀
孝謙天皇天平勝宝元年十一月七日仰於南茶園新宮大
掌以因幡爲由機國美濃爲須岐國又光仁天皇宝龜
二年十一月癸卯御大政官院行大掌之事參河國爲由
機因幡國爲須岐云云凡ソ大掌會ハ天武ノ御宇ニ
始リテ帝王一代ニ一度行ハル、大禮也トソ亨天

神曰悠紀亨地祇曰須岐ト悠紀主基ノ二國ハ國郡ト
定シテ其年ノ稻ヲ貢リ風俗歌舞ヲ奏シ物ヲ獻ス郡
司役夫ニ至ル迄賜物有差ト是以テ考ルニ昔時當國
何レノ郡何レノ里ヨリ稻ヲ貢リシ歟分明ナラサリ
シガ今此里ノ氏神ヲ野ノ宮ト号スレバ此地ノ稻ヲ
貢シナラム其時悠紀主基兩宮ヲウツシ神明ヲ勸請
シケルナルヘシ野ノ宮ノ神号後ノ野ハ助字ニテ野
ノ宮ナレハ里ノ名野村モ神号ヲ呼ヒナラフモノニ
ヤ扱又村ノ中南ノ万人坑ニ五倫ノ高サ五尺許リノ
碑碣三四基アリ故アル古墳ナルヘシサレド仔細シ

見槻中村

戸數四十二軒 辻堂本尊 觀音 普賢

氏神隼大明神 郡家村向中

土産 桑 紙子 真綿 水綿

隼郡家ヨリ六町許見槻谷ニアリ當村ヨリ奥東西兩

谷ニ分ル志子部村迄四ヶ村ヲ見槻谷ト号ス但シ兩

谷ニ見槻村アルヲ以テ當処ヲ中カ村ト云ナリ

見槻西谷村 支村 田 カジヤウ谷 井手ノ口 中土居

戸數三十五軒 辻堂本尊

氏神荒神社 祭日九月九日

中村ヨリ十四町西ノ谷隘ニアリ口ノ村ヲカシヤウ

谷ト云其レヨリ奥ノ井手ノ口々中土居諾リヲ里村

ト号ス此惣名ヲ西谷村ト云フ也此谷ノ西ハ八上ノ

大江谷ニテ西側ノ山ノ峯通ヲ郡界トス中村ヨリ大

江ノ水口村ニ越ル山道アリ十七町許其内坂ノ長サ

十四町ニ是ヲ八東塚越ト云フ 或ハ鳩塚ニ作ルハ誤

東領ノ此辺ノ村々ヨリ大江谷ニ越ルハ此坂ヲ通ル

心九瀬山ノ西ノ此ヲ越ル故九瀬越トイフ

或記ニ水木谷ニ古城ニヶ所アリ城主不知ト記リ按

ルニ見槻谷ノ夏飲イブカシ此地東西兩谷ニ城址無
シ此谷ハ大江谷ノ東ニ隣テ半榎丸瀬兩城址此谷隘
ニ見ユレハ此レ等ヲ指テ云フニヤ但シ此奥ヲ城谷
ト号スレバ是レモ大江谷下野村鉢伏ノ城ノ後ナレ
ハナリ委シク別卷古城ノ部ニミエタレハ爰ニ畧ス
見槻東谷村 支村 千ヨウシナ 關屋 久子 谷本

戸數二十七軒 过堂 今為庵地

氏神妙見社 祭日九月二十九日

高玉山本弘寺 真言今京都三寶院一
流山伏明光院持之

庵一本尊 石地藏 古者过堂也

土産 桑 真綿 紙子 薪
中村ヨリ十九町奥東谷ニアリ西谷ヨリ口ノ民家ヲ
千ヨウシナト云其奥ノ五家三家ノ小村アリ関屋久
子谷本以上四ヶ村是ヲ見槻村ト号ス東谷ノ村ナレ
ハ見槻東谷村ト云ナリ村ノ下外ヨリ日下部村ノ出
ル山道アリ下ノ尾越ト云十町余ノ當処高玉山本弘
寺ト号スル修験持ノ古ル寺アリ右ノ郡中ノ神主ノ
藏罪地也シトソ
志子郡村 支村 島居ヶ平

戸數二十九軒 过堂本尊觀音

氏神妙見社 祭月九月二十九日

土産 薪 桑 真綿 漆 李 炭

東谷村ヨリ二十三町奥ニアリ又三町許リ奥ニ鳥居

云支村アリテ其レヨリ奥ニ村落ナシ當処第

一新ヲ撰ル志子部薪ト小石山ニ生ル故木ノ性堅ク

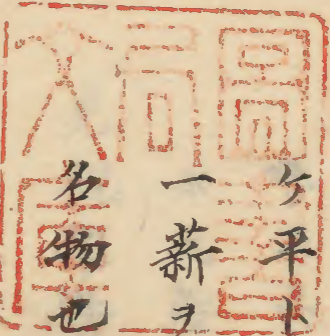
名物也次ニ泰山有テ蠶ヲ飼テ真綿ヲ製ス村ノ上ニ

ヨリ戈代一山越シ凡ソ三十町村ノ下モヨリ上日下

部一越ルヲ大坂越ト云フ二十三町ナリ其外山越ノ

道ハ々ニアリ略之按ルニ志子部ハ色鳴ノ轉語ナラ

ニ前ニ記ス如ク 仁徳天皇御宇色鳴宿称ヲ以テ丹



比ノ郷アリモシ當処色鳴宿称住居ノ迹ナルヲ以テ
其姓ヲ呼モノナラム歟

Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

